マダガスカルの民話 I

マシクル
ベツィミサラカ
ツィミヘティ

Angano Malagasy Boky I

Tsimihety sy Betsimisaraka ary Masikoro

nangonina sy nadikan'i Hideo FUKAZAWA sy RAZAFIARIVONY Michel

深澤秀夫　ラザフィアリヴニ・ミシェル　編訳

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

Boky 1

ANGANO MALAGASY
Tsimihety sy Betsimisaraka ary Masikoro

nangonina sy nadikan'i Hideo FUKAZAWA sy
RAZAFIARIVONY Michel

マダガスカルの民話　I
ツィミヘティ・ベツィミサラカ・マシクル

深澤秀夫　ラザフィアリヴニ・ミシェル　編訳

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

第 2 版(電子版)への序

本書を書籍として出版して以来、とりわけこの 2017 年 2 月 24 日に駐マダガスカル・日本大使館において『マダガスカルの民話 I』および『マダガスカルの民話 II』のプレス・リリースを開催した際、多くのマダガスカルの学術関係者やマスコミや関係省庁の方々からこれらの本の増刷や容易な入手の方法についてのお問い合わせをいただいた。それらの要望に応えるため駐マダガスカル・特命全権大使小笠原一郎氏および紙媒体資料の出版を担当した科研費代表者のアジア・アフリカ言語文化研究所の小田淳一氏と協議した結果、ここに第 2 版(電子版)を出版することとした。しおりの追加など電子版としての最低限の必要事項を満たすための作業を行なっていただいたアジア・アフリカ言語文化研究所の高島淳氏にも深くお礼を申し述べたい。

深澤秀夫

はじめに

本書は、深澤秀夫がマダガスカル北西部地方に居住する稲作－牛牧民ツィミヘティ（Tsimihety）族の人びとから、アンタナナリヴ大学（Université d'Antananarivo）教授／考古－芸術博物館（Musée d'Art et d'Archéologie）研究員のラザフィアリヴニ・ミシェル（RAZAFIARIVONY Michel）が東部に居住する焼畑稲作民ベツィミサラカ（Betsimisaraka）族の人びとおよび南西部に居住する稲作－牛牧民のマシクル（Masikoro）族の人びとから直接に採録した民話合計 22 編を、マダガスカル語テキストと日本語の対訳形式で記載したものである。本書の刊行に際しては、JSPS 科学研究費 23251010 の助成を受けた。

面積 58 万 7 千㎢のマダガスカル共和国における 2014 年時点での住民数は推定 2300 万人、現行憲法の規定によればマダガスカル語（teny malagasy）が国語（tenim-pirenena）であり、マダガスカル語とフランス語が公用語（teny ofisialy）である。

マダガスカル共和国の住民の圧倒的多数が用いているマダガスカル語は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、台湾の先住民、太平洋の島嶼先住民族などの言語と同じオーストロネシア語族に属し、方言差はあるものの相互に通話が可能である。16 世紀にヨーロッパ人がマダガスカル島を来訪する以前、既に島の東南部ではアラビア文字を用いてマダガスカル語を表記したスラベ（sorabe）と呼ばれる文書が存在していたものの、その書字法は一部の人びとの間で秘匿的に伝承されてきたため、民衆の間における識字能力の普及には寄与しなかった。またスラ

べに記載されている事項は、これまでに発見されているテキトの範囲内では、a.王族などの来歴や系譜あるいは出来事や成した事柄、b.占いや呪術の方法に大別される。これに対し 19 世紀前半にイギリスの宣教団が当時島内でその勢力を拡大しつつあったイメリナ（Imerina）王国の君主ラダマ（Radama　1793 年〜1828 年）I 世とその顧問のフランス人との協議により決定したラテン文字によるマダガスカル語表記法は、文字表記と音韻対応の合理性だけではなく、宣教団が持ち込んだ印刷機や学校教育制度さらにはキリスト教そのものの布教活動とも相まって、急速に識字人口を王国内に増加させた。その結果、学校教育、公共放送、新聞などで用いられている公用マダガスカル語は、イメリナ王国の王都であった首都アンタナナリヴ（Antananarivo）を中心としたメリナ（Merina）族の人びとのことばを基に作られている。

本書も、方言特有の音を表記する場合を除き、原則この公用マダガスカル語の表記法を踏襲し、マダガスカル語テキストを記述している。

次に、マダガスカル語で、「民話」や「昔話」を指示する単語群について見てみたい。

◆アンガヌ（angano）

「話、物語、伝説」（Richardson, J. 1885 p.46.）。

「おとぎ話、伝説、逸話」（Abinal et Malzac 1888 p.44.）。

「信じられないような事柄をあらわす口伝されてきた物語」（Rajemisa-Raolison, R. 1985 p.81.）。

「おとぎ話、伝説、物語」（Rajaonarimanana, N.1995 p.66.）。

◆アリラ（arira）

「伝説」（Richardson, J. 1885 p.67.）。

「おとぎ話、愉快な物語」（Abinal et Malzac 1888 p.62.）。

「当初は真実に基づくと考えられていたアンガヌの一種」（Rajemisa-Raolison, R. 1985 p.109.）。

「伝説、余興」（Rajaonarimanana, N.1995 p.74.）。

◆タンターラ（tantara）

「歴史、物語、伝承、伝説」（Richardson, J. 1885 p.622.）。

「歴史、伝説、物語、話、伝説上の物語」（Abinal et Malzac 1888 p.677.）。

「昔あった事についての知識」（Rajemisa-Raolison, R. 1985 p.926.）。

「歴史、物語」（Rajaonarimanana, N.1995 p.282.）。

◆タファシーリ（tafasiry）

「会話、談話」（Richardson, J. 1885 p.597.）。

「雑談、有益な会話、話題」（Abinal et Malzac 1888 p.640.）。

「有益な会話、討論、議論」（Rajemisa-Raolison, R. 1985 p.904.）。

「雑談、会話」（Rajaonarimanana, N.1995 p.271.）。

以上四つの単語の意味は、相互に明確に分離されるものではなく、互いに重複しており、本書に採録した「民話」はいずれも、これらの単語の一つないし複数に該当するものである。この四つの単語の中では、タンターラとタファシーリは「語る」と言う行為そのものに重点のある真実性の高い物語であり、一方アンガヌとアリラは「語られた内容」に重点のある真実性の

低い物語であるとのニュアンスが存在するが、必ずしも両単語群が対立的ないし相互排斥的に用いられるわけではない。本書に採録した中から例を挙げると、ツィミヘティ族の民話における結婚しても生まれる子供が全て死んでしまう女性の話、ベツィミサラカ族の民話における村の起源や戦争の話、マシクル族の民話における王の習慣や嫁取りの習慣の話は、アンガヌやアリラとは呼ばれない。一方、ツィミヘティ族の民話におけるラカカベ（Rakakabe）の話、ベツィミサラカ族の民話における「王さまとサル」の話、マシクル族の民話における「漁夫クトゥ」や「イヌの起源」などは、アンガヌやアリラとは呼ばれても、タンターラやタファシーリと呼ばれない可能性がある。以上の「民話」や「昔話」をめぐるマダガスカル語の指示範囲を踏まえた上で、これまでに出版されてきたマダガスカル語の民話集に倣い、本書の書名も、「民話」・「昔話」を包括的に指示するマダガスカル語としてアンガヌ（angano）を用いることとする。

その一方、ツィミヘティ族を含む北西部地方においては、「会話、話、お知らせ」を意味するクラーナ（korana）と言う単語が用いられている。とりわけこのクラーナに「大きい」を指示する形容詞ベ（be）を付加したクーランベ（koram-be）の単語は、文字通りには＜大きな会話＞を意味するが、このようなクーランベは＜日常会話＞としてのクラーナと対比され、クーランベの機会には先祖の系譜、先祖をめぐる伝承、先祖から継承された物語などの事柄の語られることが多い（Faridanonana 1977 p.58.）。

マダガスカルにおける民話の採録と出版は19世紀後半から行われており、ノルウェー・ルター派宣教団のダル牧師（Lars DHALE 1843 年〜1925 年）による『祖先の民話』（*Anganon'ny*

Ntaolo ）1877 年を嚆矢に、フランス外務省官吏フェラン（Gabriel FERRAND 1864 年〜1935 年）による『マダガスカル民衆の物語』（*Contes Populaires Malgaches*）1893 年、マダガスカルにおける学校教育の整備と普及に力を尽くした民間のフランス人ダンドゥ（André-Jean DANDOUAU 1874 年〜1924 年）による『アナナラヴァ地方におけるサカラヴァ族とツィミヘティ族民衆の物語』（*Contes Populaires des Sakalava et Tsimihety de la Région d'Analalava*）1922 年、ノルウェー宣教協会（N.M.S.）のビルケリ牧師（Otto Emil BIRKELI　1877 年〜1952 年）による「ムルンダヴァ地方において採録されたサカラヴァ族の民間伝承」（"Foklore Sakalava recuelli dans la région de Morondava", *Bulletin de l'Académie Malgache* pp.185-423,）1924 年などが、その初期の業績として挙げられる。

ダル牧師による先駆的業績である『祖先の民話』（*Anganon'ny Ntaolo* ）1877 年については、完全翻刻兼フランス語訳付き版が 1992 年にパリの国立東洋語学・文明研究所（INALCO）から出版されている（traduits en français par Denise DORIAN et Louis MOLET, *Contes de Aïeux Malgaches* (*Anganon'ny Ntaolo*), 1992, Paris: Institut des Langues et Civilisations Orientales.）。また、シム牧師（John Sims）がダル牧師の集めた資料を再編集したマダガスカル語の簡約版『祖先の民話』（*Anganon'ny Ntaolo*）が、1971 年にマダガスカルのルーテル教会印刷所（Trano Printy Loterana）から出版されている。

その後も現代に至るまでさまざまな民話集が、マダガスカル語もしくはフランス語訳付きでマダガスカルやフランスにおいて断続的に出版されている。特定の民族に伝承される民話や神話だけを集成したもの（cf. Philippe BEAUJARD, *Mythe et Société à*

Madagascar (*Tañala de l'Ikongo*）1991, Paris: L'Harmattan）、あるいは特定の主題に関する民話や昔話だけを集成したもの（cf. recueillis et transcrits par C. et M.-C. PAES, J.-F. RABEDIMY et VELONANDRO, *L'Origine des Choses, récits de la côte ouest de Madagascar*, 1991, Antananarivo: Foi et Justice.）なども刊行されている。

日本語に翻訳されたマダガスカルの民話集としては、フランス海外県のレユニオン島に在住する川崎奈月の編訳による『マダガスカルの民話』2007 年論創社、『バオバブのお嫁さま　マダガスカルのむかしばなし』2011 年論創社、『カメレオンと森の怪物　南インド洋の島々のむかしばなし』2014 年論創社の三冊がある。ただし、これらの民話は主としてレユニオン島に居住する複数のマダガスカル人話者から川崎がフランス語で採録し翻訳したものであり、マダガスカル語の原語を採録および表記した上、そこから直接日本語に翻訳した民話集としては、本書が日本における最初の出版物となる。

本書の刊行は、AA 研の小田淳一氏を研究代表とする科学研究費基盤（A）海外学術調査『インド洋西域島嶼世界における民話・伝承の比較研究』（2011 年度～2015 年度）に基づくマダガスカル現地における「民話」をめぐる調査ならびに採録、さらには出版助成なしにはありえなかった。また、書籍としてテキストを入力・成型する作業についても小田氏の多大なご尽力を賜った。記して、謝意を表したい。また、本書カバーのデザインは、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所特任研究員で広報担当の中村恭子氏（日本画家）の手になるものである。ツィミヘティ族の調査地の村の景観をよく写しとってくれた装丁のお仕事に対し御礼申し上げたい。

引用文献

Abinal et Malzac 1888 *Dictionnaire Malgache-Français*, Tananarive.

Faridanonana 1977 *Rantimbbolana Diksionera Tsimihety*, Antananarivo: Akademia Malagasy.

Rajaonarimanana, Narivelo 1995 *Dictionnaire du Malgache Contemporain*, Paris: KARTHALA.

Rajemisa-Raolison, Régis 1985 *Rakibolana Malagasy*, Fianarantsoa: Ambozontany.

Richardson, J. 1885 *A New Malagasy-English Dictionary*, Antananarivo: The London Missionary Society.

Fanoroan-takila

目次

Angano sy TantaraTsimihety

1. RAKAKABE SY FARAVAVY 2
2. RAKAKABE SY FARAVAVIHELY 8
3. RAKAKABE SY KIROMBO 14
4. RAKAKABE SY RAMAKO 24
5. TRIOMBE 30
6. ANTOVAVY MIHINANA ZAFINY 36
7. ZAZAHELY SY VORONA ANTSEVA 42

Angano sy Tantara Betsimisaraka

1. MPANJAKA SY RAJAKO 46
2. I NENINA TSY MBA ALOHA 60
3. RAFOZANDAHY SY VINANTOLAHY 70
4. NIANDOHAN'NY FANAMBADIAN'NY ZANAK'OLO AMPIANADAHY 76
5. NY NIANDOHAN'NY TANANAN'AMBONIHIBOKA 78
6. ANDRALANITRA 86

ツィミヘティ族の民話と物語

1. ラカカベとファラバーヴィ　3
2. ラカカベとファラヴァヴィヘーリ　9
3. ラカカベとブッポウソウ　15
4. ラカカベとラマク　25
5. ティゥンベ　31
6. 孫を喰らう老婆　37
7. 女の子とアンツェーヴァ鳥　43

ベツィミサラカ族の民話と物語

1. 王さまとサル　47
2. 後悔（ネニナ）先に行かず　61
3. 義父と娘婿　71
4. キョウダイの子供同士の結婚の起源　77

5. アンブニヒブカ村の起源　79
6. アンジュララニチャと言う言葉　87

Angano sy Tantara Masikoro

1. NY VEZO SY NY MASIKORO 88
2. NY OMBY 92
3. NY MAHA ALIKA NY ALIKA 96
4. NY FOMBAN'NY AMPANJAKANAY MASIKORO 104
5. NY FOMBA FANGATAHANA VALY 108
6. KOTOPAMINTA 114
7. AMPELAMOA 124
8. AJA NAVILIN-DRAINY NY GISONY 130
9. VALIBE TSY ALOZA 136

マシクル族の民話と物語

1. ヴェズ族とマシクル族　89
2. ウシ　93
3. イヌの起源　97
4. マシクル族の王の習慣　105
5. 嫁を求めるやり方　109
6. 漁夫クトゥ　115
7. 唖の女　125
8. 父が売った娘たちのガチョウ　131
9. 本妻は軽んざれず　137

マダガスカルの民話　I

ツィミヘティ・ベツィミサラカ・マシクル

Angano sy Tantara Tsimihety

nangonin'i FUKAZAWA Hideo tao amin'ny faritany Majunga

1. RAKAKABE SY FARAVAVY

Teo nisy olona taloha. Nisy mpanjaka. Nanan-janaka io olona mpanjaka mpivadiana, manan-janaka telo. Tananolo, Fanivoivo, Faravavy. Nisy ndraiky Rakakabe dia hangala vady olo. Nitety tañana izy. Nandeha tañana raiky izy. Tsy nahazo vaiavy. Nandeha tañana raiky izy. Tsy nahazo vaiavy.

Avy eo tojy tamin'ireo zanaka mpanjaka iny.

" Aiza tianao?".

Navoaka teo rizareo telo vavy.

" Tananolo sa Fanivoivo sa Faravavy?".

Avy eo navoaka teo rizareo telo, Faravavy tiany.

Avy teo nañano tsaboraha naresaka. Rakakabe io nañano jaoka, nañano akanjo, nañano kilalo, nañano kasokety. Avy eo nañano kasokety.

Avy teo nalianga Faravavy izy. Natao tsaboraha naresaka. Natao tsaboraha naresaka iny namono ômby.

Avy teo nandeha nanatiatitry Tananolo ndraiky Fanivoivo. Nanatiatitry Faravavy nandeha nanambady Rakakabe. Omby talohaloha;

" Oah! Faravary! Oah! Faravavy! Todio aloha, todio afara. Ny vadinao dia tsy olo". Satria baka efa nivoaka ôhiny.

Mandeha koa mandeha avy rizareo ndraiky alohaka rizareo roa

ツィミヘティ族の民話と物語

深澤　秀夫　採録・翻訳

1.　ラカカベとファラヴァヴィ

昔、人がいました。王様でした。王様夫婦には三人の娘があり、上からタナンウル（人里）、ファニヴイヴ（次女）、ファラヴァヴィ（末娘）でした。一方、ラカカベ（大きな獣）が人間の嫁を探していました。ラカカベは村々を回りました。ある村を訪ねましたが、嫁を見つけることはできませんでした。次の村に行きましたが、嫁を見つけることはできませんでした。

それから、王様の娘たちと出会いました。

「誰が好きかね？」（と王様が尋ね）、三人の娘が出てきました。

「タナンウルかい？　ファニヴイヴかい？それともファラヴァヴィかい？」。

それから、出てきた三人の娘たちの中の、（ラカカベは）ファラヴァヴィを選びました。

それから、盛大なお祝いをしました。その時のラカカベは、ズボンを履き、服を着て、靴を履き、帽子をかぶりました。それから、帽子をかぶりしました。

それから、ラカカベはファラヴァヴィを嫁に取り、盛大なお祝いをしました。その盛大なお祝いでは、牛を殺しました。

それから、タナンウルとファニヴイヴは、送ってゆきました。ラカカベに嫁いだファラヴァヴィを送って行ったのです。

Tananolo ndraiky Fanivoivo afara. Efa pare koa mahainivoaka ôhinazy.

“Oah! Faravary! Oah! Faravavy! Todio aloha, todio afara. Ny vadinao dia tsy olo”.

Lôsô foaña.

“ Zany vandinjareo”, hoy izy Rakakabe.

Nandeha, nandeha, nandeha jusuqua avy tany tanimboanjareo, io foaña hiranjareo.

Avy teo koa avy tamin’ny tañana Rakakabe io. Izahana baka izahana nalanana lambanana Rakakabe marina. Tany Tanaolo ndraiky Fanivonivo nanatitra.

Avy teo ninenana Rakakabe;

“ Eo nareo eh! Izahay mizaha hanina fohañinareo”.

“ Ia”, hoy izy telo vavy.

Nandry teo rizareo. Nandeha Rakakabe.

Avy eo akao Rakakabe fa izikoa mariniriny, manandrika koa.

“Nandry moa Tananolobe? Nandry moa Tananolobe? Nandry moa Tanaolobe?”, hoy izy Rakakabe.

“ Tsy mandry zaho valilahy, tsy mandry zaho valilahy”, hoy izy Tananolo.

Mamonjy Fanivoivo koa.

“ Nandry moa Fanivoivo? Nandry moa Fanivoivo?”.

“ Tsy mandry zaho valilahy, tsy mandry zaho valilahy”.

Jusuqu’izy avakeo ho avakeo;

“ Mbola tsy nadndry nareo ?”.

“ Eehen, mbola tsy nandry”.

後ろを歩いていた牛が、「ファラヴァヴィよ！　ファラヴァヴィよ！　前を向きなさい、後ろを向きなさい。あんたの夫は人間じゃないよ」。なぜなら、（ラカカベの）尻尾が出てきていたからです。

彼らはどんどん歩いてゆきました。（ラカカベとファラヴァヴィが）先に歩き、タナンウルとファニヴイヴが後ろからついてゆきました。もうすっかり（ラカカベの）尻尾が出ていました。

「ファラヴァヴィよ！　ファラヴァヴィよ！　前を向きなさい、後ろを向きなさい。あんたの夫は人間じゃないよ」。

どんどん行ってしまいました。ラカカベは、「それはみんな彼女たちの嘘だよ」と言いました。

それからも歩き続け、目指す場所に着きましたが、そんな歌を彼女たちは歌い続けました。

それから、そのラカカベの村に着きました。ラカカベは、敷く食事用の莫蓙を探しました。そこまでタナンウルとファニヴニヴが送ってゆきました。

それから、ラカカベが言いました「君たちは、そこに居なさい。俺たちは、君たちの食べ物を探してくるから」

「わかったわ」と三人の姉妹が答えました。

三人は、横になりました。ラカカベは行ってしまいました。

それからラカカベは近くにやって来ると、わなをかけて尋ねました。

「タナンウルベは寝たかい？　タナンウルベは寝たかい？　タナンウルベは寝たかい？」とラカカベが訊きました。

「兄さん、まだ私は寝てないわ。兄さん、まだ私は寝てないわ」とタナンウルが答えました。ファニヴイヴも同じようにしました。

「ファニヴイヴは寝たかい？　ファニヴイヴは寝たかい？」

Nandeha koa. Izikoa rizareo tafandry, nandeha namany avy eo akany, mihinana azy.

Avy teo mbola tsy nandry rizareo, nandeha koa izy. Telo andro izy nañano iny foaña nataony.

Fahaefatranandro nañano vatavatan'katakata lefy telo vavy teo. Nandehadehanjareo ny tañananjareo teo.

Avy Rakakabe avy tany koa andro alina fahaefatranandro.

"Nandry moa Tananolobe? Nandry moa Tananolobe?".

Ngy. Tsy nonjo baka. Satria baka vatan'katakata ka rizareo lôsô nilefa.

Avy koa; "Nandry moa Fanivoivo? Nandry moa Fanivoivo?".

Ngy.

"Nandry moa Faravavy? Nandry moa Faravavy?".

Ngy.

Avy teo tamin'izany namany. Izy isanandro nandeha, namany foaña akeo, avy foaña namana.

Avy teo io nihinana. Nihinana ny vatan'katakata.

" Kara handatra", hoy rizareo zany.

" Hoano foana!". Hoanina, hoanina . Izahana handatra vatan'katakata teo.

Vita ny angano. Tsy zany vandin'ny olona taloha.

Ny mpitantara: Amina

「兄さん、まだ私は寝てないわ。兄さん、まだ私は寝てないわ」
ラカカベが近くに来るたび、「まだ君たちは寝てなかったのかい？」、「ええ、まだ寝てなかったわ」と繰り返されました。もし彼女たちが寝てしまったら、仲間たちがやって来て、彼女たちを食べてしまいます。
それから三日間、彼女たちは眠らず、ラカカベは（繰り返し）やって来ました。三日間、そんな事が繰り返されました。
四日目、三人姉妹は、味のしないバナナの幹をそこに置き、自分たちの村に帰ってしまいました。
四日目もラカカベはやって来ました。
「タナンウルは寝たかい？　タナンウルは寝たかい？」。
静寂。起きてはきません。なぜなら、バナナだけで、三姉妹は逃げてしまったからです。
また（ラカカベが）やって来ました。
「ファニヴイヴは寝たかい？　ファニヴイヴは寝たかい？」。静寂。
「ファラヴァヴィは寝たかい？　ファラヴァヴィは寝たかい？」。静寂。
（ラカカベの）仲間たちもその場に居ました。ラカカベが毎日やって来るたび、彼の仲間も毎日その場にやって来ていたのです。やって来ていたのです。
それから、それを食べました。バナナの幹を食べました。
「なんか、へんな味だな」とラカカベたちが言います。
「食べちゃえよ！」。
食べました、食べました。へんな味のバナナの幹を、探しあてたのでした。
昔話は終わり。これは昔の人のウソじゃありません。

語り手：アミナ

2. RAKAKABE SY FARAVAVIHELY

Ny fanazavan'ny olona talohaka. Talohaka mo mbola misy ambonivonin'ny tengan'ny talohalohakan'ny dadilahin'ny tengany, dadin'ny tengany.

Ka nohon'ny tantara, rizareo tenga mbola helihely nandeha naraka tsoha. Nandeha Tananolombe. Nandeha fanarakaraka, nandeha Fanivoivo nandeha niaraka Faravavihely. Nandeha naraka tsoha. Izikoa momba tany tsoha iny, mania! Tamin'ny Tananolombe.

"Izaho tsy afaka".

Izikoa magan'zany Faravavy hely.

"Haganiko zaho!".

Naganiky Faravavihely. Izikoa naganiky, mandravarava tsoha, mandravarava tsoha, mandravadrava tsoha.

Elaela. Avy Rakakabe volovolobe. Izikoa avy.

"Maimboimbo olo! Ao, maimboimbo olo!", omba teo.

"Inona raha ataonareo?".

"Inona raha tianareo? Hoanina mo ho entina?".

"Ehen, entine!".

"Na miroro anao?".

"Izaho tsy hiroro".

"Miroro anao".

"Izaho tsy hiroro".

"Miroroa anao eh! Niany tsy haganiko eh!".

2.　ラカカベとファラヴァヴィヘーリ

昔の人の物語です。私のおじいさんやおばあさんよりも前のことです。

物語によれば、まだ幼い三姉妹がミカンを獲りに出かけました。タナンウルムベ［人里の意。転じて長女を指す名前］が出かけました。みんな一緒に、ファニヴイヴ［真ん中の意。転じて次女を指す名前］やファラヴァヴィヘーリ［一番下の女の意。転じて三女を指す名前］と出かけました。ミカンを獲りに行きました。その場に着くと、（三姉妹は）ミカン（の樹）を揺すりました。（そこへ）毛むくじゃらのラカカベがやって来ました。やって来るとラカカベは、「人間臭いな！　人間臭いな！」と言いながら近づいてきました。

「何をしてるんだね？」

「どっちが良いかな？　食べちゃうのと連れて行くのと？」

「連れて行ってくださいな！」

「それともおまえたちは、眠るかい？」

「私たちは、眠らないわ」

「おまえたちは眠るかい？」

「私たちは眠らないわ」

「おまえたちは眠りな！」

「今日は、眠らないわ！」

「眠りな！　今日は食べないから」

それからもラカカベは、「じゃあ、どっちが良いんだね？　連れて行くのと食べちゃのと？」（と言いました）。

Avy keo Rakakabe. Avy teo;

“Izaho tsy hiroro”.

“Inona tianareo? Ho entina mo akory hoaniko?”

“Aiza ho entina?”.

Handesinjareo. Handesin’ny bolobolobe Rakakabe. Izikoa handesinjareo, handesihandesiny. Nandesiny amin’ny lavakabe, lavabatobe.

Omby tany.

“Eto nareo eh! Inona raha tianareo hoanina? Ary hihinana amalona mo hihinana fandramana?”. “Izahay hihinana fandrama”.

“Izikoa magan’zany, ambelao, izaho handeha hianala”.

Nandeha izy. Nandeha Rakakabe. Nadeha Rakakabe. Elaela avy. Ny raha nataony, izy avy akany, “Mandry moa? Mandry moa Tananolombe? Mandry moa? Mandry moa? Mandry moa Fanarakaraka? Mandry moa? Mandry moa? Mandry moa Fanivoivo? Mandry moa? Mandry moa? Mandry moa Faravavihely? Mandry moa?”.

“Tsy mandry eh! Tsy mandry zaho valilahy, tsy mandry”.

“Mipodiana!”.

“Inona raha tsy mampangery? Ma, misy aloy eh!”. Mitikoromboko. Koromboko. Koromboko. Dia loso, “handeha koa zaho eh!”, handeha koa.

Nipody avy tany.

“Mandry moa? Mandry moa Tananolombe? Mandry moa? Mandry moa? Mandry moa, fanaraka mandry moa? Mandry moa? Mandry moa, Fanivoivo? Mandry moa? Mandry moa? Mandry moa

（とうとう）毛むくじゃらのラカカベは姉妹たちを連れて行きました。ラカカベは姉妹たちを連れ去ると、どんどんと行ってしまいました。ラカカベは、姉妹たちを、大きな穴の中、洞窟に連れて行きました。

　そこに着きました。

「さあ、ここだよ。食べる物は何が良いかね？　ウナギを食べたいかね、それともハチミツを食べたいかね？」

「私たちは、ハチミツを食べたいわ」

「それなら、私が森に行って採って来よう」

　彼は行ってしまいました。彼は行ってしまいました。ラカカベは行ってしまいました。ラカカベは行ってしまいました。かなりの時が経ってから、ラカカベが戻ってきました。森から戻ってくるとラカカベはこんなことばを繰り返しました。

「寝たかい？　タナンウルンベは寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　次は寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　ファニヴイヴは寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　ファラヴァイヘーリは寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？」

「寝てないわ！　私たちは寝てないわ。寝てないわ」

「戻りなさいよ」

「何で戻らないのかしら？　あ〜、蚊が多いわね！」

（そこで）扇ぎました。扇ぎました。扇ぎました。（ラカカベは）行ってしまいました。（ラカカベは）行ってしまいました。

　（ラカカベが）戻ってきました。

「寝たかい？　寝たかい？　タナンウルンベは寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　次は、寝たかい？　寝たかい？　寝たかい？　ファラヴァヴィヘーリは寝たかい？　寝たかい？」

Faravavihely? Mandry moa?”.

“Tsy mandry . Tsy mandry zaho valilahy! Tsy madnry zaho valilahy! Tsy madry eh!”.

Izany olo mandry.

“Mipodiana!”.

“Raha inona koa? Aa, raha misy manaikitra!”. Kiro, kiro, kiro.

“Inona koa?”.

“Handeha koa zaho eh!”.

“Ia”.

Loso koa izy ary rizareo iny atelina vatavatan’katakata tan-trano jiaby. Tatehana an-trano jiaby. Rizareo. Dia gina.

Ny mpitantara: Mananjandry

「キョウダイよ、私たちは寝てないわ。キョウダイよ、私たちは寝てないわ。寝てないわ」（ラカカベは）寝た人を食べてしまうのです。
「戻りなさいよ」
「何事かしら？　また咬みつくものがいるわ」
「また何かしら？」
「行ってくるよ」
「わかったわ」
　ラカカベが行ってしまうと、（姉妹たちは）全ての家にバナナの幹を運びこみました。すぐに、全ての家に運びこみました。そして、静寂。

語り手：マナンザンドゥリ

3. RAKAKABE SY KIROMBO

Teo zany, nisy Rakakabe. Safe koa izy mangala-vaiavy. Ka Rakakabe nangala-vaiavy tamin'ny antovavy. Antovavy ndraiky nitarimy le zaza vaiavy. Ka zafiny. Ka zafiny tariminy, nisy olona nandeha nizaha vaiavy, le Rakakabe telo lahy. Fa ndraiky lahy foaña tena hangara viavy moa ireto any. Nandeha mangata-baiavy manapaka vidin-kariaña hangalaña azy. Nandeha tany. Omby teo.

" Zaho tôy eh! Zaho nandeha atô hangala vaiavy.".

" Ka reninareo akatô misy tovovavy manjary atao vady. Ma, ravoravo zaho zeo eh!", hoy izy antovavy.

" Zafiko mba ny olona hanam-bady alefako eh! Aleoko masaikisaiky alefako izy".

" Ohatrinona moa tomoninareo?".

" Ee, moa omby efatra, vôla efajato".

" Ia, izikoa zany alefa ".

Avy teo mbola nandeha tany Rakakabe.

" Afaka herinandro anareo mipôdy", hoy antovavy.

Nandeha tany Rakakabe. Maro nividy entana, nividy inona. Afaka herinandro avy koa Rakakabe avy tany.

" Avy, dia hamonjy le fotoaña".

Namory fokonolona, ny fianakavian'ny vaiavy. Natao vady vao.

Avy teo baka ny vita izy iny, nandeha. Satria rizareo nañano ny posen'ny olona mañano iny, kilalo iny, kasokety, jaoka, raha jiaby. Tanimboanjareo, rizareo nivorivory jiaby, avy teo dia nandeha.

3.　ラカカベとブッポウソウ

昔、ラカカベがいました。ラカカベ（大きな獣）が嫁をとるのです。ラカカベは、お婆さんのところから嫁をとりました。お婆さんは、女の子を養っていました。（養っていた女の子は）孫でした。お婆さんが孫を養っていたので、ラカカベの三人の男たちが嫁を探しに行きました。ラカカベたちの中でも一人がとりわけ嫁を欲しがっていました。（そこで）嫁をもらうための財産贈与について取り決めるため、ラカカベたちは嫁取りに行きました。そこに行きました。そこに着きました。

「わたしはここにやって来ました。わたしは嫁をもらうために来ました」

「あんたたちは嫁にすることのできる若い女性がここに居ると聞いてやって来たのかい？　それはとっても嬉しいねえ」とお婆さんが言いました。

「私の孫を、結婚するために人のもとにやらせましょう。孫を（嫁として）やらせることに躊躇するより、承知することにしましょう」

「いくら要るのか、はっきりと言ってくださいな」

「じゃあ、牛 4 頭にお金が 200 アリアーリではどうだろうかね？」

「はい。それなら持ってきましょう」

それから、ラカカベは行ってしまいました。「一週間後に、あなたたちは戻ってきてくださいな」とお婆さんが言いました。ラカカベは帰ってゆきました。それから、（ラカカベは）たくさん品物などを買いました。一週間後、ラカカベがまたやって来ました。

「やって来ましたよ。約束を守りましたよ」（とラカカベが言いました）。

Tsi’sy mpanatiatitra le zazavaiavy fa Rakakabe foaña namana. Omby avy tany iny, aranjareo lambanjareo, tsy tokon’ny olona hainy.

Teo, teo, teo, andro raiky Rakakabe dia hangala hanina fohañinjareo.Izy nandeha nangala hanina fohañinjareo iny. Nagano kitamo kakazo ambo be le zaza vaiavy.

“ Ma! Kitamo kakazo ambo be iny”.

Tany tsy hitan-dRakakabe tany. Endriky izy fototra tany misy zareo akeo mô tsy hitany foaña.

Avy tany izy nizahaña.

“ Aiza tanimboaña izahaña ?”.

Nizahaña anatin’ala jiaby, nizahaña anatin’ala jiaby, nizahaña foaña.

“ Aiza misy azy? Tsy hita eh !” .

Tampitra rizareo, efa nihinana azy.

Avy teo tsy hitanjareo le zaza vaiavy.

Mandalo vorona raiky amin’ny zaza vaiay.

“ Handeso zaho, koera!”.

“ Ma, mandeha tanana lava somobe zaho. Zaho tsy handeha anao arô”.

Lôsô.

Mandalo foana vorona raiky.

“Handeso zaho , karako ! Izaho mandeha tanana mañan’zany”.

“ Izaho tsy handeha anao arô”.

Lôsô.

Tateteky koa.

“ Handeso zaho !”.

（お婆さんは）村の人たちや女の子の親戚を集めました。新婦としました。

それから、式が済むと、彼らは出発しました。なぜなら、ラカカベたちは靴を履き、帽子を被り、ズボンを履き、すっかり人間と同じ格好をしていたからです。したくが終わり、人びとが集まり、それから出発しました。女の子を送ってゆく人たちがいなかったため、ラカカベたちだけが女の子の連れ合いでした。（お婆さんたちの村から）戻ると、ラカカベたちは服を脱ぎ棄て、人間が知るべきではない姿となりました。

その後のある日のこと、ラカカベたちは自分たちの食べ物を獲りに出かけました。ラカカベは、自分たちの食べ物を獲りに行きました。（そこで）女の子は、高い高い樹にしがみつきました。「まあ、なんて高い樹にしがみついているんでしょう」。そこは、ラカカベからは見えませんでした。女の子の姿は、彼らがその樹の根元に居ても、見つかることはありませんでした。

それから、ラカカベは探しました。

「彼女の行った場所がどこか探さなきゃ」

森中を探しました。森中を探しました。探し続けました。

「彼女は何処なんだ？　見つからないな」

ラカカベたちは諦め、食事を始めました。

それから、女の子はラカカベたちに見つかることはありませんでした。

一羽の鳥が（樹の上の）女の子のところに立ち寄りました。

「オウムさん、私を連れて行ってくださいな」

「え〜！　あたしゃ、遠い村に急いでいるんだよ。あたしゃ、あんたをそんな遠いところには連れてゆけないよ」

Nandalo kirombo.

“ Handeso zaho, ry kirombô !”.

“ Anao handesiko eh!”.

“ Izaho avy any, omeana karama hanina”.

“Ia”, hoy izy ny kirombo.

Nandesin’ny kirombo tamin’ny elatranazy zaza vaiavy. Jeky! “ Avelao tany izay misy zaho”, hoy izy.

Avelana tamin’ny tany antovavy.

Tany narikidirikity teo, “ Reo, reo, reo”, kirombo nandeha raha. “ Reo, reo, reo, reo”.

“ Eto?”, vilañiny ami’ny zazavaiavy.

“Eehen”.

Mandalo tañana raiky.

“ Reo, reo, reo”.

Le kirombo ndraiky kikoho koa mandamina tanana, tsy tian’ny olona.

“ Inona koja akany ? Fa maninona ny kirombo ? Inona izany ? Misy vaovao ratsy eh !”.

Avy teo, “ Reo, reo, reo”.

“ Eto !”.

Jeda varavarana antovavy. Efa tanana’ny antovavy teo izy.

“ Inona koa rahabe handesin’ny kirombo? Anao kirombo nañan’zany hô ? Anao apetraho aketo any”.

Jedana teo kirombo io. Izahana avateo nijaotsy zafiny. Ravoravo baka antovavy.

Tantara tamin’izany zafiny.

飛んで行ってしまいました。
また一羽の鳥が立ち寄りました。
「インコさん、私を連れて行ってくださいな。私はこれこれの村に行きたいのです」
「あたしゃ、あんたをそんな遠いところに連れてゆけないよ」。
飛んで行ってしまいました。
それから間もなくのことです。
「私を連れて行ってくださいな」
ブッポウソウが立ち寄りました。
「ブッポウソウさん、私を連れて行ってくださいな」
「あたしがあなたを連れて行ってあげましょう」
「私がそこに着いたら、あなたにお礼として食べ物をあげましょう」
「わかりました」とブッポウソウが言いました。
ブッポウソウはその女の子を羽根に載せて飛んでゆきました。飛び立ちました。
「私の居たところに降ろしてくださいな」と女の子が言いました。お婆さんの居た所です。
その場所が近づくとブッポウソウは、「レウ、レウ、レウ」と啼きました。「レウ、レウ、レウ、レウ」と啼きました。
「ここかい？」とブッポウソウは女の子に言いました。
「違うわ」
他の村に行きました。「レウ、レウ、レウ」（と啼きました）。ブッポウソウやキクフが村に居ることを人は嫌います。
「そっちで何があったんだい？　ブッポウソウがどうしんたんだい？　何が起きたんだい？　悪い知らせに違いない」

“Izay tôy ny olona nampanambadianareo zaho zany Rakakabe, olo nisy volovolo”, hoy izy zaza vaiavy.

Tamin’izany kirombo, “ Anao aza beky mandeha ! Ndao andrahoaña” .

Nahandro baka ny olona teo tananajareo, fianakavianjareo. Olo mandeha mangala rano, antovavy mbola nantoty nikorana aminazy. Olona mandeha mandoky, antovavy mbola nandeha nangala rano izy, ny dadin’ny zaza vaiavy. Olo mandeha efa ritra hahandro, nihinazy mbola nitoto. Olona efa masaka handro, nihinazy mbola boriky. Olona mihinana efa manitsinitsy hanina, nihinazy mbola amboarina. Avy baka nagano tsy kirombo olona arô. Manitsy hanina, nanaño tsikirombo teo manitsy hanina. Niteky, nihin’ny antovavy mamay.
“Zafiko aman’janako kirombo izikoa zaho mahita olona maty na lohan’ombin’olona ampasana tsy maintsy hoaniko, ary olona maty zany milaza vaovao ratsy”.

Izikoa mangina ny kirombo any ambanivohitra, hafa efa misy vaovao ratsy zany na fahatesana na misy olona marary.

Izany angano.

Ny mpitantara: Amina

それから、（また他の村で）「レウ、レウ、レウ」（と啼きました）。
「ここよ」
お婆さんの（家の）戸口にとまりました。女の子はお婆さんの村に着きました。
「ブッポウソウが何を運んできたのかね？　ブッポウソウが、そうやって運んできてくれたのかい？　そっちに置いておくれな」
ブッポウソウはそこにとまりました。それから見ていると、孫娘が降りてきました。お婆さんはとても喜びました。
孫（の女の子）は、出来事について語りました。
「あなたたちが私と結婚させた男と言うのはラカカベだったの。毛むくじゃらだったのよ」と女の子は言いました。
ブッポウソウに（言いました）。
「ブッポウソウさん、まだ行かないでくださいね。食事を作りましょう」
村の人たちや親戚の人たちは、食事を作りはじめました。人びとは水を汲みに行きましたが、お婆さんはまだ座ったまま、孫（の女の子）と話をしていました。人びとは食事を作りはじめましたが、お婆さん、その女の子の祖母はまだ水汲みに出かけただけでした。人びとの食事が炊き上がるころ、お婆さんはまだ米搗きをしていました。他の人の食事ができたころ、お婆さんの食事はまだ固いままでした。人びとが食事をし、食べ物が冷たくなったころ、お婆さんはまだ食事を作っていました。
（そこで）向こうの人がブッポウソウに食事を出しました。そこに居たブッポウソウに冷たい食事を出しました。お婆さんの（作った）食事が暖かくなった時、（ブッポウソウは）行ってしまいました。
ブッポウソウが言いました。

「私や私の子供や孫は、死んだ人やお墓の牛の頭を見つけたら、必ず食べましょう。それに、人が死んだと言う悪い知らせは必ず告げましょう」

（そのため）田舎では、ブッポウソウが騒ぐ時、死や病人や悪い知らせがあるのです。

これは昔話なんです。

語り手：アミナ

4. RAKAKABE SY RAMAKO

Izay nisy Ramako.

“Zaho ato eh! Zaho tsy tafandry tany valinao”.

Nivory zareo jiaby akao.

“Zaho ato eh! Tsy tafandry valinao eh!”.

Jiaby akao. Avy teo nivory rizareo akao, mavozô.

Avy teo nandeha iny izy, nandeha.

“Anao niany fandriky anao eh!”, hoy izy Rakakabe.

“Anao niany fandriky anao eh!”, hoy izy Rakakabe.

Avy teo, “Eehen, tiako voan’ny fandriky zany. Mahety tany”.

Nandeha zany baben’ny Rakakabe. Zany baben’ny Rakakabe zany.

Avy teo “Zaho eny. Zaho mamany hely!”.

Nandeha namany izy. “Oah! Ramako!”.

Avy teo tadiaviny manaraka zany. Poko! Ratsaka izy. Kitamo tany manga zany. Ohatra zay,mangabe izy.

Avy teo lôsô koa. Lôsô babeny koa.

Avy teo, “Eo zaho! Hangery hely”.

Nandeha koa izy.

Avy teo, nandeha. Omby teo.

Avy teo nandeha niakatra vatobe, zany izy.

Avy teo, “Oah! Ramako!”.

Afiketeo manaraka izany. Nanao poko! Ratsaka koa. Vakivaky izany vatobe io.

4.　ラカカベとラマク

昔、ラマク（と言う女性）がいました。
「私はここだわ！　私は、あなたの夫とは寝てないわ」
人びとがみんなそこに集まってきました。
「私はここだわ！　私は、あなたの夫とは寝てないわ」
みんなが集まりました。みんながそこに集まってきたので、（ラマクは）怖くなりました。
それから（ラマクは）逃げ出し、逃げました。
「おまえ、ここで捉まえちゃうぞ！」とラカカベが言いました。
「おまえ、ここで捉まえちゃうぞ！」とラカカベが言いました。
それから、（ラマクが）「いいわ、私捉まっても。土地は狭いから（居るところがない）」
（そこで）ラカカベが（ラマクを）背負ってゆきました。ラカカベが（ラマクを）背負って行きました。
それから、「私をそこで降ろして。ちょっと小便がしたいわ」
ラマクは小便に行きました。
「お〜い、ラマク！」（とラカカベが呼びました。）
それから、ラカカベは近くを探しました。ドカンと一発！　ラマクが落ちてきました。ラマクは、マンゴーの樹に登っていました。それは大きなマンゴーの樹でした。
それから二人は行きました。（ラカカベが）（ラマクを）背負って行きました。
「私をそこで降ろして。ちょっとウンチがしたいわ」
ラマクはウンチをしに行きました。

Nandeha koa.

“Moa! Izaho te handeha hamany”.

Nandeha kitamo koa izy.

“Oah! Ramako!”.

Avy teo poko! Ratsaka koa.Izy koa tamin’ny zavoka. Bay foana azony.

Teteky nahita zaza madinika zany izy. Nandeha nampiany zany izy. Mety zaza madinika zany izy.

“Aiza tanimboan’i Ramako?”.

Mariny hely rizareo. Avy teo nangara kitamo manga rizareo.

“Niany tsy ambaranareo, misy vonoiko raikiraiky!”.

Avy teo tsy nambaranjareo.

Avy teo omby teo.

Avy teo nandeha tsikiny mamo nentin’ny olona.

Avy teo natao famaky.Tsy maty. Natao meso. Tsy maty. Tsi’sy raha tsy natao azy. Avy teo, nataony poko! Naty.

Tampitra.

Ny mpitantara : Elianne

それから（ラマクは）逃げました。そこに着きました。

それから（ラマクは）大きな大きな岩の上に登りました。

それから（ラカカベが）「お〜い、ラマク！」（と呼びました。）

それから近くを探しました。ドカンと一発！（ラマクが）落ちてきました。その大きな岩は粉々になりました。

二人は行きました。

「ちょっと！　私、小便に行きたいわ」

彼女はまた木に登りました。

「お〜い、ラマク！」（とラカカベが呼びました。）

それから、ドカンと一発！　（ラマクが）落ちてきました。彼女はまたアボガドの樹に居たのでした。（逃げることはできず）ケガをしただけでした。

しばらくすると、ラマクは一人の子供と出会いました。その子供が、ラマクを助けてくれることになりました。その子供は、まだずいぶんと幼いようでした。

「ラマクさん、何処に行くの？」（と子供が訊きました。）

ラマクとその子供は一緒になりました。それから二人でマンゴーの樹に登りました。

「今日と言う今日は、（隠れ場所を）おまえたちが明かさないのなら、一人一人殺してやる！」（とラカカベが言いました。）

二人は（居場所を）明かしませんでした。

それから（ラカカベは）そこに（子供の村）着きました。

それから、人びとは（ラカカベを）連れて行き、酒で酔っぱらわせました。

それから、斧を使いました。（ラカカベは）死にません。ナイフを使いました。（ラカカベは）死にません。あらゆる物を試してみました。

それから、人がドカンと一発！　（ラカカベは）死んでしまいました。

終わり。

語り手：エリアンヌ

5. TRIOMBE

Mandeha Timobe, mandeha tany misy olona. Mihinana baka izy io. Izikoa tany misy olona Timobe, niakatra tanana, andro tsofotra andro harivariva. Olona efa nivolana, “Efa hariva ny andro.Hafodio varavarana eh! Mihinanana bonnheur !”. Izany mahatonga olona taloha nihinana bonneur, akôho mandry, efa mandry olona. “Mihinana bonnheur! Ho avy Timobe ! ”.

Timobe izikoa avy, mipetraka varavarana, mitandrena zaza mitomany. Izikoa misy mitomany, izikoa misy kofokofoka, avy Timobe. “Maimbo olombelona zany! Maimaimbo olombelona zany!”, hoy Timobe. Ny olona jiaby mangina ! . “Maimbo olombelona“, mitety varavarana raikiraiky koa izy. “Maimbo olombelona zany !, maimbo olombelona zany”.

Teo, “Maimbo olombelona zany”. Tsy mahareny na olona kohokohoko na zaza mitomany. Loso Timobe.

Amaraina iny, mipody koa izy. “Maimbo olombelona zany ! Maimbo olombelona zany”. Teo olona. “Maimbo olombelona zany ! Maimbo olombelona zany !”. Ka zaza mitomany alina dia omena olona.

Farany misy zaza tsy mety mangina. Niditra an-trano. Alainy zaza io Timobe. Ny olona jiaby mitomany, samborin’i Timobe io zaza. Nandesiny zaza nitomany an-trano iny. Trano lomotra anatin’ala taranonazy. Izikoa omby anatin’ala izy. Nisitriky io zaza, zazamena iny. Izikoa asitriky zazamena iny, matsanga iny, lasa iny. Omeny

5. ティゥンベ

ティゥンベは、人の住むところに行きます。そこで、ティゥンベは人を食べるのです。（ティゥンベは）人が住んでいるところに行き逢うと、日没の夕刻に村にやって来ます。（ですから）夕方になると人びとは話をします。「もう夕方だ。扉を閉めろ！　まだ、早い時間だけれど食事を済まそう！」と。そのため、昔の人びとは夕方早くに食事を済ませ、ニワトリが眠るころには、人間もまた眠りました。夕方早く食事を済ませるのです。

ティゥンベがやって来ると、戸口に腰をおろし、子供が泣く声に聴き耳をたてます。泣いている子がいたり、起きて動いている人がいると、「人間臭いぞ！　人間臭いぞ！」とティゥンベがやって来ます。村中の人たちが息を凝らします。「人間臭いぞ！」と言いながら、ティゥンベは一軒一軒扉から扉を歩いてまわります。「人間臭いぞ！　人間臭いぞ！」。「人間臭いぞ！　人間臭いぞ！」。

ある日、「人間臭いぞ！」（と言いながら、ティゥンベが人間を捜しました。）しかしながら、起きて動いていたり、泣いたりしている人間を聞きつけることはできませんでした。ティゥンベは、立ち去りました。

翌日も、ティゥンベが戻ってきました。「ほら、人間臭いぞ！　ほら、人間臭いぞ！」。人間がそこにいました。「ほら、人間臭いぞ！　ほら、人間臭いぞ！」。（そのため）夜泣く子は、人にあげてしまいました。

とうとう、泣き止まない子供がいました。（ティゥンベが）家の中に入って来ました。ティゥンベが、その子供をさらって行きました。その子供がティゥンベに連れ去られたため、村びとたちはみんな泣きました。ティゥンベは、彼を連れ去りました。ティゥンベは、家で泣いていた子

fandrama. Omena bibibiby.

Alina loso koa izy mizaha zaza fanampiaña. Iny zaza avy eo. “Maimbo olombelona zany !”, natao maromaro. Alainy maromaro zaza. Tsy mahita, mody koa izy. Farany io zaza io nitomany mipetraka anatin’ny trano analan-draha io. Mitomany zaza io. Izikoa avy iny ivahany, gin ny zaza iny. Omena hanina. Omeny fandramana. Omeny bibibiby. Nihinana iny zaza iny. Izikoa mihinana biby omeny manko, dikan’zany, efa tamana zaza io. Izikoa zaza efa tsy mihinana biby raiky io, tsy tamana. Andrasana gedageda. Andrasana gedageda. Fa gedageda zaza, hainy mitombo gedageda , handesiny. Handesiny manaraka azy, mizaha fanampiny.

Teteky mahaimisimisy fanahy io zaza.

“Tsy olona mamako ity biby. Izikoa olo, zaho mipetraka fa biby, milefa zaho”..

Izikoa efa zaza misy fanahy handesiny, andro alina araka zaza iny, tsy hain’ny zaza nahita lalana hafa na lalana hafa. Zaza iny efa manirinirу volo. Nisy volovolo kara olo dia ireny. Nahita lalana hafa dia lôsô zaza iny.

Izy loso iny dia tsy nahitan-draha Triombe. Zaza iny tsy laniny, zaza iny tsy hitany, nandeha nitsakaraha tanana, sokafona varavaran’ny olona jiaby. Nizahany iny zaza iny. Izikoa harivariva, hidiny iny varavarana garana kakazo, sao dia hidirana Triombe. Io zaza io votsotro. Dia tsy hita intsony zaza iny josoka Triombe tsy nahazo olona.

Izay mahatonga olona brousse, izikoa harivariva ny andro, amin’ny enina, efa miditra an-trano, mamdry, satria hariva Triombe avy

供を連れ去りました。ティゥンベの家は、森の中の苔むした家でした。ティゥンベは森の中に着くと、その赤ん坊を隠しました。ティゥンベはその赤ん坊を隠してしまうと、昼間は出かけてしまいました。（戻ってくると）ティゥンベは、その赤ん坊にハチミツを与えました。赤ん坊に動物も与えました。

夜になるとティゥンベは、次の子供を探しに出かけました。「ほら、人間臭いぞ！　ほら、人間臭いぞ！」と繰り返しました。ティゥンベは多くの子供たちを連れ去ろうとしたのです。（次の子供を）見つけられずに、（ティゥンベは）帰りました。とうとう泣いていた子供も、森の中の家で暮らすようになりました。その子供は泣きました。ティゥンベが外出から戻ると、子供は（泣くのをやめ）静かになりました。（ティゥンベは子供に）食べ物を与えました。彼は、ハチミツを与えました。彼は、動物を与えました。子供は、それらを食べました。ティゥンベのくれた動物を口にしたと言うことは、すなわち子供がその場に馴染んだ事を意味します。もし子供が一匹でも動物を口にしなかったら、馴染んだ事にはなりません。大きくなるのを待っていました。大きくなるのを待っていました。子供が大きくなると、ティゥンベがその子が大きくなったと判断したら、連れてゆくつもりでした。一緒に連れて行き、次の子供を捜すのです。

ほどなくして、次第にその子供は知恵がついてきました。「この動物は、人間である僕のお母さんじゃない。もし人間だったらここに暮らすけれど、動物なんだ。僕は逃げ出そう」。ティゥンベがさらって来た子供は知恵をつけていたものの、夜だったため、どの道を行ったら良いかわかりませんでした。その子供はもう髪が生えていました。もう、野生の人間のような髪がありました。その子は道を見つけ、逃げました。

mizaha olombelona. Maimbo olona dirana.
Izany angano angano, arira arira. Izaho tsy mavandy fa olona taloha.

Ny mpitantara: Françoise

子供が逃げたことに、ティゥンベは気がつきませんでした。その子を食べていないのに、その子が見えなくなったのです。（ティゥンベは）村に探しに行き、全ての人の扉を開け（ようとし）ました。ティゥンベは、その子を捜しました。夕方になると、ティゥンベがやって来るといけないので、木で鍵をして扉は閉まっていました。その子供は見つかりませんでした。ついに、ティゥンベは人を捕まえられないまま、その子も見つかりませんでした。

このため、夕方六時頃になると、田舎の人たちは家の中に入るのです。なぜなら、夕方になると、ティゥンベが人間を捜すからです。

以上、お話はお話、物語は物語。私が嘘をついたのではなく、昔の人たちです。

語り手：フランソワーズ

6. ANTOVAVY MIHINANA ZAFINY

Manam-bady izy, zanakany maty, tsy haiko. Manam-bady dia maty, manam-bady dia maty, manam-bady dia maty. Manam-bady zany, teraka vadiny dia maty.

“Fa maninona foana? ”.

Kekitry vilan’ny nininy . Andro raikiray dia tamin’ny andro raiky fa tany, sasasasany dia maty dia alevina, maty dia alevina. Andro raiky ity, fikorontanana fôanga alevina ireo. Fa ozoniny, mangara le velona.

“Naninona moa ? Tsy haiko”.

Zanakany telo lahy vinanto vadiny lany jiaby .

“Maninona izikoa miteraka dia maty. Maninona? ”.

Teo nivolana ny olona an-tanana.

“Mamanao mamosavy, tsy haiko”.

“Eh! Mamako tsy mangano zany”.

Andro raiky , maty koa raiky, iny nalevina, io nandeha nalevina, nandehanam-pasana. Dia kokahany. Kokahany, tsy haiko, misy sampina an-dambosiny. Nafifiky nasorona fa tsy afaka, nafifiky nasorona fa tsy afaka.

“Tsy hay ataoko. Bidoko am-pasananareo, tsy haiko”.

Handeha hody menatra olona an-tanana. Ary alina jiaby efa mandry, mody izy. Miditra anatin’ny tranonazy efa misy tranon’ny moka anaty lay.

“Aia mama? Aia moa rafozako? ”.

6. 孫を喰らう老婆

ある人が結婚すると、なぜかはわかりませんが、その子供が亡くなります。結婚すると亡くなり、結婚すると亡くなり、結婚すると亡くなるのです。すなわち、結婚して、妻が出産すると（その子が）亡くなるのです。

「ああ、なぜいつもこうなのかしら？」

子供の母親は、悲嘆にくれて言いました。ある日また、人が死んで埋葬し、人が死んで埋葬するのです。その時も、彼らを埋葬する混乱が起きました。呪われており、生きた人間を連れ去るのです。

「どうしてなの？　わからないわ」

息子三人や、夫がみんな亡くなってしまいました。

「出産すると亡くなるのは、なぜなのかしら？　どうして？」

村人が言いました。

「よく知らんが、あんたのお義母さんが、邪術をやっているんじゃないかね？」

「私のお義母さんは、そんなことはしません！」

ある日また、一人が亡くなり、埋葬しました。埋葬するため、墓地に行きました。そこで、彼女は掻きました。なぜかわかりませんが、（背中を）掻きました。彼女の背中に呪物があったのです。（服を脱いで）とろうとしましたが、とれません。とろうとしましたが、とれません。

「どうしたら良いのかわからないわ。（なぜ）おまえたちの（埋葬された）墓地に居る事になったのか、わからないわ」

Tsakarainy fa tsy hita, tsakaraina. Na dia efatra andro, fa tsy hita. Farany izany, nandeha fofona.Maimbo. Sa fait, izy zany salovalna raiy sy kisaly raiky sy dala izy tao. Zaza iny, misampy azy maty. Anatin'ny efatra andro, misy raha maimboimaimbo.

"Inona raha mantsingy? ".

Izahana ny chambre misy raha tsy manjary. Izahany.

"Mama! Anao moa aia? Kara misy raha mantsimantsingy".

Tsy nivolana izy. Farany tamin'izao nisy folotra efa niakatra. Mizahana, mizahana,mizahana.

"Rô, mama! Io antony sakafo, andro niteraka maty , nitekara maty, niteraka andro mihinana ireto raha tsy manjary ireto ?" .

Koa hitan'ny ray aman-drenin'ny tsaiky vonoina iny . Nahita tany nandatska io zany anatin'ny dambosiny.

"Ma ! Io fôanga ela vonoiny nangarain'ny zanakany".

Antovavy mpamosavy.

Mihinan-jafy. Zany raha fomba olona taloha, mihinan-jafy.

"Io antony. Vinanto ndraiky sy rafoza mifanaraka loatra" , hoy olona fa tsy haiko eh!

Tsy mifanaraka.

Izany tantara.

Sa fait antovavy mihinana zafiny. Mosavy, mosavinazy teraka. Nisy taminay tany. Tena nisy.

ny mpitantara: Amina & Françoise

（村に）戻ると、村人たちの手前、恥ずかしくなります。そのため、人びとが皆眠りについた夜になってから、彼女は家に戻りました。蚊帳の中が蚊の巣となった家の中に入りました。

「お母さんは何処？　私の義母さんは何処？」

あちこち捜しても見つかりません。あちこち捜してもわかりません。四日間が経っても、見つかりません。しまいには、匂いが漂い始めました。臭いのです。キサーリとサルーヴァナとシーツがそこにありました。四日間、臭う物がありました。

彼女は、良からぬ物がないかどうか、部屋を捜しました。捜しました。

「お義母さん！　あなたは何処？　何か臭う物があるわよ」

答えはありませんでした。最後には、（家に）蔦が生えてきました。（臭う物を）捜しました、捜しました、捜しました。

「ねえ、お義母さん！　生まれて死んで、生まれて死んでの原因は、生まれた日に食べた良からぬ物のせいなの？」

そして、女性の両親が、子供たちを殺した物を見つけたのです。女性の背中に入れられた呪物を見つけたのです。

「あれまあ！　これが、ずっと子供たちを奪い、殺していたんだ」

老婆は邪術師だったのです。

孫を食べる。すなわち、孫を食べるのは昔の人の習慣です。

「嫁と義母とはとてもうまくいっていたのに」と人は言いますが、私はわかりません！　うまくいってはいなかったのでしょう。

物語は以上です。

老婆が邪術を行い、自分の孫を食べていたのです。老婆が出産時に邪術を行ったのです。私の村でもそんなことがありました。本当にあったことなのです。

語り手：アミナ&フランソワーズ

7. ZAZAHELY SY ANTSEVA

Teo zany nisy, nisy zazahely zany nitarimy vorona antseva.

Avy teo nomeny haninanazy voronazy.

“Oah! Vorona antseva ! Oah! Vorona antseva ! Vorona antseva, tsy latsaka ny seclet, tsy ny volamena. Oah! Nininay eh! Oah! Babanay! Vorona antsevanay lôsô!”.

Avy zareo, nomeny hanina. Izy efa iny.

“Oah! Tôy Dade! Handeha vorona antsevanay eh !”.

“Ia”.

Lôsô. Izy lôsô tany tamin’ny mamantana tanambe zany. Omby tany.

Teo zany reo.

“Arô ! Hoaniny vorona antseva. Arô !”.

Hoaninjareo.

“Oah! ”.

Antsovy zareo zany raiky, kara tendanazy zany, hoy zandriny raiky avy teo.

Avy teo, avy baka zareo. Izy avy dia ninenana.

“Arô eh!”.

Kopohony, kopohonjareo. Nomenjareo hanina. Kopohonjaero. Voakopoka. Maro geda zany voro. Izy voakopokoa iny, nentinjareo, avy teo hoaninjareo.

Avy zareo. Avy tany zareo efa tenga zareo efa voky. Avy teo ;

“Mba omeo rano hely dy !”.

7.　女の子とアンツェーヴァ鳥

　昔、女の子がいました。女の子はアンツェーヴァと言う鳥を飼っていました。

　それから、女の子は、鳥たちに餌を与えました。

「ねえ、アンツェーヴァさん！　ねえ、アンツェーヴァさん！　アンツェーヴァさんは、秘密も金も落としませんよ。ねえ、お母さん！　ねえ、お父さん！　私のアンツェーヴァが飛びたちますよ！」

　鳥たちがやって来たので、女の子は餌をあげました。女の子は餌をあげ終わると：

「ねえ、お婆さん！　アンツェーヴァ（と一緒に）出掛けるわ」

「わかったよ」

出かけました。女の子とアンツェーヴァは、大きな村めざして出かけました。その村に着きました。

　村には、人がいました。

「おい！　アンツェーヴァを食べちゃおうぜ」

　彼らは食べる（つもりでした）。

「お〜い！」

　彼らは一羽の鳥を呼びました。その声は、女の子の（呼ぶ）声のようだと妹が言いました。

　それから、鳥たちがやって来ました。鳥たちがやって来ると、言いました。

「それ！」

Mbola antsoviny, mbola voaroaka antsevanajy. Avy teo, tsy foanga avy teo.

“Mba omeo rano hely dy !”.

Nomeanga rano avy teo.

”Aza mahagôdra vilanibenay eh !”.

Avy teo mbola izahavany vorona taoanatin’ny kabone zany.

Avy teo nanokatra vilainibe.

Sokafona vilanibe, nizahany vorona antseva voalasa.

Nandeha hamono tenga zareo jiaby.

Avy teo nitomany.

Tampitra.

Ny mpitantara: Elianne

人びとは（鳥を）捕まえました。捕まえました。餌をやって、捕まえました。捕まえてしまいました。たくさんの大きな鳥がいました。鳥を捕まえると、人びとはそれらを運び、食べてしまいました。

人びとが戻ってきました。戻って来た彼らは、腹いっぱいでした。それから：

「ちょっと、水をおくれ」

女の子はまだアンツェーヴァを呼び、捜していました。何も見つかりませんでした。

「ちょっと、水をおくれ」

それから、水をあげました。

「家の大鍋を触るんじゃないよ！」

それから、女の子はトイレの中までも鳥たちを捜しました。

それから、大鍋を開けました。

大鍋を開けて、姿の見えなくなったアンツェーヴァを捜しました。

鳥たちは一羽残らず死んでしまっていました。

女の子は泣きました。

おしまい。

語り手：エリアン

Angano sy Tantara Betsimisaraka

nangonin-d RAZAFIARIVONY Michel tao amin'ny faritr' Anosibe An'ala

1. MPANJAKA SY RAJAKO

Nandeha hono i Rajako nangery am-bovo. Rajako io hono dia biby an'ala akeny. Raha an'ala akeny izy io ka misy tanàna raiky misy mpanjaka sy misy borizano maromaro.

Ka tany io hono tany mena, tsisy rano loharano be, rano mandeha fa tany hadiana atao hoe vovo no rano hanin'olona amy tany io. Ka raha minga hono Rajako ka mandro amin'io vovo io, ka avy mandro dia mangery.

Dia avy hono ny olona nalaka rano harivariva. Dia izany feno tey ny vovo. Dia lasa nierina amy mpanjaka.

Raha nierina takany amy mpanjaka dia…

"A nangeren'olona ny vovo ampanjaka".

" A ! Manakory ?"

"A, nangeren'olona"

"Iza hono olona tokony hangery am-patsakana iza ? Fa raha misy tey zany ka mangadia".

Dia nangady my ny olona. Ny harivan'iny, teraka ndraika rano dia iny ndraika nohanina.

Izy hono amarainan'iny dia avy ndraika lera fitongavan'i Rajako. Ka andro hono amin'io dia mafana be, misotro rano hono aloha ilay

ベツィミサラカ族の民話と物語

ラザフィアリヴニ・ミシェル　採録・翻訳

1.　王さまとサル

サルたちが、水汲み場にウンチをしました。サルたちは、その土地の森に棲む動物でした。サルたちが森の中に住んでいた一方、王さまとたくさんの人たちの住む村がありました。

その土地は赤土で水源や流れる川がなかったため、土に井戸を掘り、その土地の人びとは井戸の水を飲んでいました。サルたちがやって来て、井戸で水浴びをしてからウンチをしました。

夕方近くになり、人びとは水を汲みにきました。井戸はウンチで一杯でした。その人びとは、王さまのもとに訴えにゆきました。

「王さま、井戸に人がウンチをしております」

「なんじゃと？」

「人がウンチをしております」

「人の井戸で、誰がウンチをすると言うのじゃ？　もしウンチがあるなら、井戸をもうひとつ掘るがよかろう」

人びとは井戸を新たに堀りました。また、水が湧いてきたため、水を飲むことができました。

翌日になり、またサルたちがやって来る時刻となりました。その日はとても暑かったため、サルたちは水を飲みました。サルたちは水を飲み終わると、また井戸にウンチをしました。

夕方になり、また水を汲む人たちが集まってきました。

ingahy dia… Avy nisotro ley Ingahy dia angereny ndraiky vovo.

Tonga ndraiky mpatsaka harivariva :

“A, misy tey ndraika vovo tôna. Iza ariky olona mangery am-bovo tôna? Ndao ndraiky hakany amy mpanjaka akany”. Ninga takany andraiky :

“A ! nangerean’olona vovo mpanjaka”.

“Iza my ariky hono mangery aminazy zany raha tsy andreo no mangery aminazy zany. Tsy hitako hono tokony hangery aminazy aketo hono fa olona samy mihinana rano iny eo. Dia… A! Ndana ndraiky mangady !”

Nangady ndraika… Dia nohanina ndraiky iny… Isan’andro dia zany foaña. Izy avy akeo amizany. Farany dia…

“ Aha ! andao embenondreo, antsoin’i mpanjaka”.

Dia zakeny zany tamin’ny tapany atsimo.

Ndao andreo miamby ny vovo akeny.

Dia lasa zany amarainan’iny, niambina takany, fanaon’ny biby miamby vovo zany. Izy mipeka amin’ny roambifolo dia iny avy tokoatriny.

Ariky ty ariky raha mangery aketo io.

Kay i mpanjaka efa nanafatrafatra hoe :

“ Raha mandro izy ka raha misotro rano dia avelao, fa raha mangery dia sambory, dia ento akaty n’iza n’iza fa ho tapahina ny lohany !”

Izy hono zany handeha hody tokoatrany amin’ny roambifolo amy lera fitongavany. Raha nitonga takeo hono dia nisotro rano dia nandro. Avy nandro hono izy dia nangery.

“ A, iny mangery akeo antsoin’ny olona ka samboro”.

「なんてこった！　井戸にまたウンチがあるぞ！　いったいどいつがまたこの井戸でウンチをしたんだ？　また、王さまのところに行こう！」

人びとは、王さまのところに行きました。

「王さま！　井戸で人がウンチをしております！」

「もしおまえたちがウンチをしたのでなければ、いったい誰がそこでまたウンチをしたと言うのか？　人はみなこの井戸の水を飲んでいるのに、そこでウンチをする人間など見たことがない。そうだな、また井戸を掘りなさい」

また、井戸を掘りました。またその水を飲みました。そんなことが毎日繰り返されました。終いに人びとはうんざりしました。

「（そやつをひっ捕らえるために）待っておれ」と王さまが言いました。

「村の南の者たちは、そこの井戸をよく見張っておれ」

翌日人びとは、動物たちのしわざを含め、井戸を見張っていました。昼になり人びとが座っていると、例の一団がやって来ました。一匹一匹、ウンチをしました。

王さまは、（人びとに）御触れをだしました。

「もし、水を飲んだり、水浴びしているだけなら、放っておけ。しかし、もしウンチをしたら誰であれ捕まえてここに連れてまいれ。そやつの首を刎ねよう！」。

そう言うと、王さまは、サルたちがやって来る時間の昼間に戻りました。サルたちは水を飲み、水浴びをしました。サルたちは水浴びを終えると、ウンチをしました。

「そこでウンチをした者がいる、捕まえろ！」と人びとが言いました。

「やつらを追いかけろ！　追いかけろ！」

Fanenjaka amizay hono, zareo, fanenjaka. Dia nisy zanarano fito zany, nilahadahatra. Izy tonga tamy zanarano ampovoan'izy fito io dia nizaka :

"Samboro, antsoin'ny sasany, efa marivorivo ananjy".

"A, hono aza samborina hono ! fady, fa ity ranon-jañahary hono ka tsy azo anamborana raha hono raha tsy roso aloha akany".

Iny avy takeo dia nijanona zany sasany fa hoe ranon-dRañahary ka natahorana. Dia avy my ny sasany avy tany mbola afara nihazakazaka my.

" A, samboro, samboro !"

Dia nizaka my zany ny namany aloha nijanina tôna.

"A, tsy azo samborina hono fa ranon-dRañahary, ka mijanona aby aloha fa mbola hisoloan'ny Zañahary antsena izay vao mifanenjika amizay avy akeo fa ity tsy azo anenjehana raha".

" A, avy afara akany dia ohatra zany my".

Izy avy takeo amizeny dia :

"A, aketo andreo, antsoin'ny Rajako, fa handeha aloako hisolo amy Zañahary ambadika arony, ka avy akeo miverina aty my, mizaka amindreo rehefa vita !"

"Ay, koa zany antsoin'i tsôña".

Dia lasa amy zeny Rajako. Lasa iny Rajako dia, diany se iny! Izy avy akeo dia nijajirika akeo ny sasany dia reraka aby mitaña andilany, sasany reraky mitsangana. Tsisy mitoetra na raiky, mitsangana aby…

Izy amy dimy dia avy amy zeny mpanaraka. Zany ny vovo feno tey, i olona tsisy hita.

そこで人びとはサルたちを追っかけました。そこには、一つながりの七つの小川がありました。その中に着くと、追いかけてきた人びとは叫びました。

「やつらは近いぞ、捕まえろ！」と一部の人びとが言いました。

「捕まえてはならないぞ！　禁忌だ。この川は神のもの。もっと向こうに行かなければ、誰かを捕まえることなどまかりならぬ」とサルが言いました。

一部の人たちは、神の川と聞いて恐ろしくなり、そこに立ち止まってしまいました。

後からも続々と人びとがやって来ました。

「捕まえろ、捕まえろ！」

その場で先に止まった人たちが、他の人たちを制しました。

「神の川なれば、捕まえることはできない。止まれ。今追いかけた場所は、神にお願いするところ。ここでは、誰かを追いかけることはできない」

後から人がやって来て、同じようなことが続きました。人びとがみんなそこにやって来ました。

「あんた達はみなここに着いたようだ。では、私があちらにおわす神のところに行き、話をしてこよう。話が終わりそこから戻ってきたら、あなたたちとも話をしよう」とサルが言いました。

「よろしいとも」と人びとが言いました。

と言うことで、サルは行ってしまいました。サルは行ってしまい、逃げてしまいました！　その場に残った人びとは、疲れてしまったり、立っているのに疲れたり、腰を伸ばしているのに疲れたりと困りはてていました。一人も座るものはなく、みんな立っていました。

“ Akaiza ningan’i zareo ?”

Dia lasa sasany nandeha amy mpanjaka hoe :

“Ny vovo misy tey ndraiky akao, ka ningan’olona io tsy hita”.

Sasany zany hoe nanara-dia akany hono. Dia lasa zany zey nanara-dia. Sasany avy takeo nangady vovo.

“A ! iza olona mangery am-bovo io ?”

“Ary dia Rajako !”

“ Ka akeza izy ?”

“ Dila any fa mbola misolo amin-Jañahary hono fa i rano ity ranon-Jañahary ka tsy azo ifanenjehana, raha tsy izany hono matimaty raha tsy misolo akany alôko, fa mbola hierina akeo izy”.

“ A ra!, antsoin’i sasany, fampinanantsena omby aketo isan’andro !”

“ A! Zao, antsoin’ny mpanjaka: Atsika miavy andrefana io andao kanty, andao amaraina miambina”.

Izy tonga amarainan’iny dia niambina tokoatra. Izy mipeka amy roambifolo dia avy tokoatry Rajako dia nisotro rano, fa andro mafana amin’io ka ! Avy nandro izy dia iny dia nangery ndraika.

“A, Samboro ndraika antsoin’i sasany”.

Fanenjehana ndraika mahazo amy tany iny. Dia misy tavirana mitongilana zany. Avy izy avy akany dia notohanany raha iny.

“Samboro antsoin’ny sasany, samboro, samboro !”

“Ha ! Aza samborina hono fa vonjeo malady hono fa io manko hono tavirana ity ka tohano fa maty aketo antsena fa hitontan’i tavirana ity ambany akato aby”.

Iny avy sasany dia tonga dia efa nanohana. Avy my sasany:

“Samboro, samboro fa mijanona andreo !”

夕方まで人びとがそこに居る間、水汲みの人たちがやって来ました。またしても、人が居なかったため井戸はウンチだらけでした。

「見張りたちは何処に行ったんだ？　」

一部の人たちは、また王さまのところに行き、言いました。

「また、井戸にウンチがございます。見張りの者たちが見当たりません」

そこで、半分の人たちは井戸の見張りたちを探しに行き、残った人たちはまた井戸を掘りました。

「誰が、井戸にウンチをしたのじゃ？　」

「また、サルめでございます」

「そやつは何処におる？　」

「サルは、神と話をしに行ったとのことであります。その川は神の川であるため、人を捕縛することはできないとのことです。その場で神と話をしないと、人が死んだりいたします。サルはまだその場に戻ってくるとのことです」

「何と、その場は、毎日、ウシを（水飲みに）連れてゆくところではないか」と人びとが言いました。

「では明日は、村の西の者たちが見張っておれ」と王さまが言いました。

翌日、村の西の者たちが見張りました。人びとが昼時に座っていると、サルの一団がやって来ました。暑い日だったため、サルたちは水を飲みました。サルたちは水を浴びた後、またウンチをしました。

「それ、今度こそ捕まえろ！」と人びとは言いました。

また、捕まえるために追いかけました。ひどく傾いた丘がありました。サルはそこまでやって来ると、丘に寄りかかりました。

「捕まえろ！　捕まえろ！　捕まえろ！」と人びとが叫びました。

“A, Tohano malady hono fa maty aketo aby antsena niany”.

Dia takeo aby niaraka nanohana aby zareo. Dia nizaka i Rajako :

“Aketo hono andreo manohana raha ity hono fa zaho halaka dilo marikitra ary hono hanohanantsena ananjy, fa mifanenjaka my hono antsena avy eo. Fa raha tsy zany hono dia matin’i tavirana ity hono fa tototra akato aby antsena”.

“ Ay koa ! hono antsoin’ny sasany”.

Lasa iny izy dia diany se iny… Izy avy takeo amizeny dia takeo my zareo. Avy ndraika amy dimy. Dia avy ndraika i mpalaka rano avy akany, dia nizaha. Dia feno tey my vovo. Zahany hono ny olona tsy hita akeo… Dia ny sasany ninga nody amy mpanjaka akany.

“A, antsoin’i raha, dia andao mierina koa dia mandàna lahateo mangady vovo fa tsisy rano hohanina”.

Dila i mangady vovo dia… Dia nañaraka dia tonga nahita an’i zareo.

“A, ino ataonareo aketo ?”

“Tohano malaky hono i tavirana ity fa raha tsy tohanana ity dia maty aby fa hipoaky tavirana ity”.

“Andreo hono manam-panahy ? antsoin’i sasany, avy antsinanana, ao. Tavirana hono ka… raha ninga andreo avy tamin-dRajako ka dia nety tokoatra. Matin’ny mpanjaka andreo niany ! Andao andreo fa hody. Dia dila ! Ny sasany amin’io manohana tavirana iny dia efa mitana andilana raika aby, dia tanana raika foana manohana. Dia dila my, dia tonga takany dia nazavaina”.

“A manakory takany ?”

“A, i tavirana avaratra aroña… Io nampanoan’i Rajako anjareo dia

「捕まえないでくれ。すぐに助けてくれ。この傾いている丘を支えてくれ。さもなければ丘の下敷きになってみんなここで死ぬぞ」とサルが言いました。

最初その場に着いた人びとは、丘を支えました。後から人が来ました。

「捕まえろ！　捕まえろ！　止めるな！」

「すぐに支えてくれ！　さもないとこの場でみんな死んでしまうぞ」

みんなでその丘を支えました。そこでサルが言いました。

「みなさんは、ここに居てください。私は丘を支えるための棒を近くで取ってきましょう。その後で、追いかけを続行しましょう。さもなくば、ここで死んでしまいます。しっかり支えていてください」

「わかった！」と人びとが言いました。

サルは行ってしまい、逃げてしまいました！　一方、人びとはその場に残っていました。また夕方になり、水汲む人たちがまたやって来て（井戸を）覗き込みました。井戸はウンチでいっぱいでした。（見張りたちを）探しましたが、見つかりませんでした。

一部の人たちは村に戻って来て、王さまのもとに行きました。

「料理用の水がないので、急いで再び井戸を掘るよう」と王さまが言いました。

また、井戸を掘りました。次に、他の人たちが、見張りたちを見つけました。

「あんたたちはそこで何をしているのかね？」

「急いでこの丘を支えてくれ。支えていないと、この丘は崩れてみんな死んでしまうんだ」

「あんたたち、気は確かかい？」と村の東の人たちが言いました。

nanaiky tokoatra zareo".

"Ay zany ! Andreo mizaka ho kanty, antsoin'i mpanjaka, kandrefa andreo ariky farany dondrona amy tanàna ity ! Dia andreo avy antsinanana ndraika minga amaraina fa andeha mipetraha andreo sasany tôna".

Dia nitoetra tokoatry sasany. Ninga amizay i antsinanana amarain'iny. Dia mbola iny my Rajako… Avy akany, misotro rano dia mandro. Avy mandro iny dia mangery.

"A, Samboro, samboro !"

Dia nisy kakazo be midoroboka zany andrefan'i tanàna eo. Dia nilefa iny Rajako dia tambony akeny. Ka i kakazo io be fanenitra…

Dia avy akany zany, tonga dia niakatra sasany.

"A, Samboro, samboro fa akato hono fa reraka".

"Ha ! Miakara moramora hono fa lakolosin'Andriamanitra hono".

Dia niakatra aby hono, niakatra aby. Dia samy nalaka toerana. Dia nipetraka, tafakatra aby .

"Zaho rehefa mizaka hoe : "Manisa raika aho dia velona moramora hono i lakolosy iny. Fa lakolosy iny lakolosin'Andriamanitra ka raha tsy tononintsena in-telo hono dia maty aketo aby antsena. Raha mañano an'izao koa hono aho dia ataovy moramora, mañano ka amin'io aho dia ataovy mafimafy. Fanintelony hono dia faran'izay aindreo".

Dia nanisa izy :

"Reka hono !"

Dia manovana moramora zany zareo. Dia nidinidina aby fanenitra io.

「サルたちの言う通り，もしあんたたちが離れたら、丘が倒れるってわけかい。今から、あんたたちは王さまにこっぴどく叱られるぞ。あんたたちは（村に）戻りなさい。行きなさい！」

その時、一部の人たちは腰で、あるいは腕一本で丘を支え続けていました。

人びとは去り、（村に）着いて（王さまに）説明しました。

「向こうは、どうだったかな？」

「北側の丘を、サルたちが人びとに支えるよう言い、人びとはそれに従いましてございます」

「なんじゃと！　おまえたちは頭が良いとの評判だったが、この村一番の痴れものたちだったわ。明日は村の東の者たちが、その場に行き、座って見張っておれ。他の者たちも同じようにせよ」

（翌日）人びとは座って（見張って）いました。翌日は村の東側の人たちが（見張りに）行きました。そこへまたサルたちが現れ、水を飲み、水浴びをしました。水浴びの後、ウンチをしました。

「捕まえろ！　捕まえろ！」

村の西側に大きな木がありました。サルたちは、そのてっぺんに逃げました。その木には、ハチの巣がありました。人びとはそこに着くと、一部の人たちは木に登りました。

「捕まえろ！　捕まえろ！　やつらは疲れているぞ」

「気をつけろ！　ゆっくりと登ってこい。この木は、神の鐘なるぞ」とサルたちが言いました。

人びとは木に登りました。登った人びとは、場所を決め、座りました。

「私は皆に言う。私が一を数えたら、その鐘をゆっくり鳴らせ。しかし、その鐘は神の鐘。それゆえ、もし三回鳴らさなければ、この場のものは

“Fanindroany dia efa narivorivo an’i zareo fanenitra io”.
“Fanintelo namelona mafy andreo”. Nivelomana mafy iny dia nirodana i fanenitra iny nandrakotra andreo!!!

Ny mpitantara: NAIVOSON Joseph

みな死ぬだろう。最初鳴らす時はゆっくりとせよ。次に鳴らす時は、より強くせよ。三回目の時は、一番強くせよ」と言いながら、サルが数えました。
「承知した」と人びとが言いました。
人びとはゆっくりと数え始めました。と、ハチも降りて、近づいてきました。
「二」（と人びとがより強く言うと）、ハチが彼らに近づいてきました。
「三」と人びとが叫びました。ハチが勢いよく降りてきて、人びとを包みましたとさ。

語り手：ナイヴスン・ジョゼフ

2. I NENINA TSY MBA ALOHA

Nisy raikalahy nalaka viavy. Izy io hono nametra toaña : Neniña anaran'ny zanany. Iny zaza tokana iny hono dia tsy zanaky ny vady an-drano , fa ny vadiny an-drano dia niterahany maromaro. Raha teo hono dia nanjary tizan-drenikely i Neniña ! Za-madinika moa dia miaraka milalao hono dia zao no ataon'i za-madinika ;

"An, an ! Zey moa atsia dia vorom-bary hono amena anao, fe i anay teñateñany".

" E hono antsoin'i Neniña, tsara izany ! Io hono dia tampony ka de ! Zaho zany no fara-tampony amintsena an-drano akao".

"Maty anao niany ! Hatoronay an'i Mama izany".

"Ay !"

" Zany Neny a", Mama antsoin'i Neniña : anomezanao vorom-bary anazy hono dia, tampom-bary hono io, izy hono fara-tampony amintsena an-drano akato

"Maty iny lelaka ! Diaso, teñateñany ndraika homeny an'iny. Vilay !Tsisy mahafitritra anahy karaha Neniña Neniña tsy manjary iny".

Nameana ndraiky teñateñam-bary.

"Te ! te ! niaram-paty ! antsoin'i za-madinika. Teñanteñam-bary ndraiky amen' i Mama anao ! Anay ndraika moko i tampom-bary"

"Tsara izany ! Zaho hono maneñanteña rehetra rehetra an-drano akao, ny raha rehetra rehetra an-drano akao".

"Zao maty ianao niany! Hatoronay an'i Mama ndraiky zany!"

2. ＜後悔＞先に行かず

ある男が女を娶りました。月日が経ちました。二人の間の子供の名前は、ネニナ[後悔の意]でした。その子は一人っ子でしたが、本妻の子ではなく、本妻はたくさんの子供を産んでいました。と言うわけで、ネニナは義母に育てられることになりました。子供たちは一緒に遊び、子供たちが言いました。

「君にはもみ殻をあげよう。僕たちの分は白米だよ」

「ああ、それは良いね。（もみ殻は）天辺じゃないか。僕は家の一番の天辺さ」とネニナが言いました。

「こいつ！　その事、母さんに言いつけてやる」

「ああそうかい」

「お母さん、お母さんがもみ殻をあいつにやったら、それはコメの天辺だってネニナが言うんだ。だからあいつが家の一番の天辺だってさ」

「あいつが何だと！　お待ち、じゃああいつに白米をやろうじゃないか。ネニナのやつ、頭にくる。まったくどうしょうもないやつだ」

（とうとうネニナに）白米が与えられました。

「ふんだ。ざまあみろ！　お母さんが今度は君に白米をくれるってさ。今度は僕らがコメの天辺をもらうのさ」と子供たちが言いました。

「それは良かった。僕が、家にある全ての物、家にある全てを手にするんだ」とネニナが言いました。

「こいつ！　その事をまたお母さんに言いつけてやる！」

“Zany”, hono a Mama : izy hono manenanteña antsena rehetra rehetra an-drano akao, ny raha rehetra rehetra an-drano akato. Zany zakan’i Neniña

“Maty atsia iny ! Diaso koa i zaza Neniña neninan-draha iny a : Taoko nenina aman’ainy iny fa diaso ! Ampango ndraika hameko anazy !”

Namena ndraika hono ampango. Nohanin-jareo i tampom-bary, nohaniny teñateñany, ampango nomena an’i Neniña. Ninga ndraiky za-madinika nilalao.

“Te te ! miaram-paty anao ka ! Ampango namean’i ry Mama”.

“E ! Andreo hono raha ! Ampango anie ka vahany dia fotony. Zaho hono no tena fotony ary vahatra vahan’ny rehetra rehetra amin’ny trano akao”.

“Maty anao niany ! hatoronay an’i Mama ndraiky zany.”

“Zany hono Mama a ! Ampango hono dia fotony dia vahany. Izy hono no tena fotoben’ny an-drano akato sady vahiny”.

“Eky, Havoakako ny iabany lelaky iny raha zakaina fa tsy efako raha aman’i Neniña maty iny”.

Tonga raikalahy avy tañ’ala :

“Zao ! Niany antsena dia hisaraka ! raha aman’i zanakao itsy dia faran’ny raha mahafîtrîtra anahy. Laha tsy vinoinao itsy zaza iny dia zaho tsy hipetraka an-drano akato”.

“Ha, hono laha higidragidra aman’i zaza raika iny se no hampisaraka antsen-droy dia aleoko hono mahafoy anazy, tsy hahafoy an-dreo mianakaby”.

“A, Indaoko avy zanako mianakaby ka ! Vinoy any hono i Neniña !”

「お母さん、こんなこと言ってたよ。あいつが、家にある全ての物、家にある全ての物を手にするって言っていたよ。ネニナはそれができるって」
「何だと！　見ていろ、ネニナにそのことを後悔させてやろう。そのことを後悔させてやるから見ていろ！　今度は、おこげをあいつにやろうじゃないか！」
　今度はおこげが（ネニナに）与えられました。他の子供たちはコメの天辺（もみ殻）と白米を食べました。ネニナには、おこげが与えられました。また子供たちは、遊びに行きました。
「ふん、ふん。ざまあみろ。お母さんが君におこげをくれたぜ」
「君たちはものを知らないんだなあ。おこげは、根っこで土台だよ。だから、僕が土台で根っこさ。そう、根っこ、あの家の全ての物の根っこなのさ」
「こいつ！　またお母さんにその事をばらしてやる」
「お母さん、またこんなこと言ってたよ。おこげが、土台で根っこだってさ。だから、あいつがこの家の土台で根っこだって」
「ああそうかい。あいつのやった事を洗いざらい父親に言おうじゃないか。あのネニナの奴にゃ我慢ならないよ」
　男が一人、森から戻って来ました。
「ねえ！　今日この場で離婚して！　あんたの子供の事で、私たちは頭がおかしくなりそうだわ。あんたがあの子を殺さないのなら、あたしはもうこれ以上この家に居たくないわ」
「ああ、あの子のことで頭を悩ませ、私たちを分かれさせるなら、おまえたちと別れるよりも、あの子と別れることにしよう」と男は言いました。

“A ! hono, diaso hono fa hivinoina !... Ino ary ka hono tetika ?”
“Zao, antsoin-draikavavy, aza atorotoro ananjy any e : Halefa ary amy mpanjaka izy ka asiana tapahiny lohany, tapahin’i mpanjaka”.
“Inona ary hakanina ananjy”.
“Hinga akany avy eto !”
Tonga tary amy mpanjaka hono.
“Zao ampanjaka ! Misy zananay zay akao mahafitrîtra anay, maditra, mamalivaly anay ray aman-dreny. Ka araky lalàna dia vinoina ny olona maditra, ka tapaho i am-bozony !”
“Misaotra ! antsoin’i mpanjaka. Indaosy aty zany !”
“ Ka zao izy : zeny mitondra voninkazo, dia izy no vinoina”.
“Marina izany ! antsoin’i mpanjaka. Dia hasaiko hambenan’ny miaramila mpanapa-doha izy zany an ?”
“Eky ! Ka tandremo hono mpanjaka fa zeny mitondra voninkazo, dia iny Neniña Ataovy nenina aman’aina izy”.
Niavotra hono. Namena hono voninkazo.
“Nda atsia atero i Neniña hañatitra voninkazo ty amy mpanjaka, fa mari-boninahitra sy marim-pakasitrahana ananjy ity. Anao my any Neniña mitondra ity voninkazo ity anao !”
“Natia hono ! Tongako hono ity”
“Andreo aza mipetrapetraka. Aza mipetrapetraka fa amy mpanjaka se vao mitöny. Izy hono marivorivo lalana”.
Niavotra hono …. Niavotra hono… Niavotra hono…
“E, Ndao hono ra ! Hatia fa hindaoko”
“ Ay ? … hono maty aho izany. Ity voninkazo ity”.
“E, dia hanino anao ?”

「子供たちと共にお暇させて頂きますわ！　ネニナを殺してちょうだい！」
「え！　殺すのは待ってくれ！・・・どうしたものか？」
「じゃあ、あいつには知らせずに、あいつを王さまのもとにやって、王さまにやつの首を刎ねてもらうのさ」と女が言いました。
「どうやって、王さまに言うんだい？」
「今から、王さまのもとに行きましょう」
　夫婦は王さまのもとに着き、言いました。
「ああ、王さま！　私たちの子供は私たち親を敬わず、素行が悪く、親に反抗ばかりしております。ですので、掟に従い、この素行不良の者を殺してください。この者の首を刎ねてください！」
「わかった！　ここにその者を連れてまいれ」と王さまが言いました。
「では、こうしてはいかがでしょうか。子供に花を持ってこさせ、子供を殺すのです」
「良いだろう！　では、首を刎ねる兵士にその者を来させることにしようと思うが？」と王さまが言いました。
「承知しました！　王さま、ご注意ください。花を持ってくる者がネニナです。彼に自分の人生を後悔させてやってくださいませ」
　（兵士は）出発し、（ネニナに）花を渡しました。
「ネニナよ、この花を王さまにお届けせよ。これは、王さまに対する名誉と感謝の深い証なのだ。ネニナよ、おまえ自身がこの花をお届けせよ」
「お渡しください。私がこの花をお持ちいたします」と言いました。
「（途中）休むでないぞ。休むでないぞ。王さまのもとに着くまで。道はさして遠くはない」と兵士が言いました。
　（子供たちは）出かけました。出かけました。出かけました。

“A, hinga hangery aho zany ! Ity koa voninkazo ity!”

Nameany zanak’i viavy iny raikalahy Talañolo hono.

“Anao hono andreo aza mipetrapetraka fa zany zakan’i Mama sy Baba tarony e ! Tandremo lahateo !”

Sarisarika hono izy ninga nangery. Itsy dila my.

Iny, hono takatr’i mason’ny miaramila mpanapa-doha tary. Dia mbola tañ’ala tao my hono izy io … Vao tonga hono nigadona itsy nitondra voninkazo dia notapahiny loha.

“E, dia tapaka loha ry Ano ! E, dia tapaka loha ry Ano”

Ny raika tsy tapaka loha zany nisavalavala, nilefa niery, niaro taminanjy tan-dalana.

“Anga ! Ino itsy nanpierina anao ? Tonga se voninkazo ?”

“A, notapahin’i mpanjaka loha hono i zokilahy, ka dia izay raha nafierina anahy akeo io”.

“Aha ! Vintan-draha ! ndao malady fa hody”.

“Ndao hono, ndao !”

Hazakaza-dava, hazakaza-dava hono nilefa tonga tan-drano.

“Anga tse, ino tany ?”

“A hono, dia notapahin’i mpanjaka loha i Talañolo ka dia izany raha nafierina anay”.

Nikao loha i viavy iny nitomany.

“Maty zaho e !”

“A, ho mby ta marivorivo moko dia raha ninga nangery i Neniña dia zahay roilahy nalefany taloha. Dia ry Talañolo nitondra i voninkazo io”.

“Maty hono zaho, aman-janako ! Ay raha… ! Laha i Neniña hono

「そっちに行ってくれ。僕は木陰で休みたいよ」
「ああ。・・・死にそうだ。この花を（持って）」（とネニナが言いました。）
「どうしたんだい？」
「（お腹が痛いので）ここでウンチがしたいんだ！　この花を」
　ネニナは、その花を義母の長男に渡しました。
「君たちは、休まないで。父さんと母さんが、君たちをぶつよ。十分気をつけて！」
　間もなく、ネニナはウンチをして戻りました。他の子供たちは行ってしまいました。
　首を刎ねる兵士が、子供たちを遠くから見つけました。子供たちはまだ森の中でした。花を持った子供が着くや否や、兵士は捕まえて首を刎ねてしまいました。
「こやつの首を刎ねたぞ！　こやつの首を刎ねたぞ！」
　もう一人の首を刎ねられなかった子供は慌てて逃げ出して姿をくらまし、途中ネニナに会いました。
「あれ！　何で戻ってきたの？　花は届いたの？」
「王さまが、兄さんの首を刎ねたんだ！　だから僕は戻ってきたんだ」
「なんてこったい！　急いで戻ろう、さあ！」
　駆けて、駆けて、家に逃げ帰りました。
「向こうはどうだったかい？」（と子供たちの母が言いました。）
「王さまが兄さんの首を刎ねたんだ。だから、僕たちは戻って来たんだ」と言いました。
　女は頭を抱えて、泣きました。
「あ〜、死にたい！」

raha taloha dia tsy nomaty zanako ! Vintan-draha hono raha. A, hono, Na i Neniña, hono dila aloha dia tsy nomaty zanako…!”

Izany hono nahatonga ny hoe : Ny nenina tsy mba aloha. Na i Nenina dila taloha dia tsy nomaty i zanan’i viavy nitiza an’i Nenina.

Ny mpitantara: NAIVOSON Joseph

「（王さまの村に）近づいた時、ネニナが急いでウンチをしたので、僕ら兄弟二人が先に行ったんだ。それで、兄さんがその花を持って行ったんだ」

「ああ、息子よ、あたしは死にたいよ！　もしネニナが先だったら、あたしの子供は死ななかった。なんてこったい！　もしネニナが先だったら、あたしの子供は死ななかった！」

　このため、「ネニナ（後悔）は先に来ず」と言うことばが生まれました。もしネニナが先に行っていれば、ネニナを育てた女性の子供は死ななかったからです。

語り手：ナイヴスン・ジョゼフ

3. RAFOZANDAHY SY VINANTOLAHY

Nisy hono olona minamana, mipetraka an-drano tavy zany izy io anaty ala akany. Fotoana faha asa moa raha ka nipetraka anaty ala akany. Laha nipetraka anaty ala akany izy minamana io, raikalahy zany mipetraka andohamandry, raika vavy misomokomoko an-drano akeo. Dia nahatazan'olona raikalahy nipetraka tam-barangarana andohamandry :

"Olona ary va iry mandroroña iry ?"

"Taitra", hono raikavavy.

"Akaiza moa rô olona zakainao zany ?"

Dia mba nitsirika, arika vao nitsirika hono izy dia tonga dia fantany :

"A, hono, i Baba raha zakainao iny, i Baba !"

Dia nizaka hono raikalahy.

"Ary ka hono i babanao ! Ambarako ho olona"

"A, babako ka tsy olona ? hoy raikavavy iny"

"Aha, hono, ambarako olona moko hono ! Arika i babanao"

Izy hono tonga tokoatry i babany tonga tan-drano

"E, dia mandrosoa !"

Nandroso iabany dia natao i antsafa. Laha àrika vita hono i antsafa dia efa nitantara i raikavavy.

"E ! Anao zakain'ny vinantonao dia tsy olona".

"Anga raha ino mahatonga an'izany ? Akaninkaninareo minamana aty ka apetapetaka aminahy va ?"

3. 義父と娘婿

昔、夫婦がいました。彼らは、森の中の焼畑の家に住んでいました。農作業時、彼らは森の中に住んでいました。夫婦が森の中に住んでいた時、夫の男性は家の入口に座り、一方妻の女性は家事をしていました。家の入口に座っていた男性が遠くから人を見つけました。

「向こうに降りて行く人は誰だろう？」

「え何？」と女性が言いました。

「あなたが遠くに見つけた人は何処なの？」

女性はじっと見つめた結果、すぐに誰かがわかりました。

「あなたが向こうに見た人は、お父さんだわ、そうお父さんよ」と言いました。

男性が言いました。

「君のお父さんか。また、他の人かと思ったよ」

「私のお父さんは人間じゃないの？」と女性が言いました。

「そうじゃないよ。人だと思ったんだ。それが君のお父さんなんだ」

女性の父親が本当に家の前にやって来ました。

「どうぞ、お入りください」

女性の父親は家に入り、挨拶をしました。挨拶が済むと、女性が話をしました。

「お父さん、婿さんによれば、あなたは人間じゃないんですって」

「そりゃまた、どうしてだい？　おまえたち夫婦の戯言を、私にしようってのかい？」

“Aha, anao hono laha vao nandisa tahaka iny, dia nizaka izy tahaka irony hoe :

“Iry misy olona”. Izy nahita anao taloha. Ary ka laha nizaha hono zaho dia nahafantatra

“E ka i baba iny antsoiko”. Kanefa hono “Ary ka i babanao ? Ambarako ho olona”.

Nizaka hono zaho hoe “Babako ka tsy olona ?”. Dia mbola nizaka my izy “Ambarako ho olona moko hono zany, arika i babanao !”. Izany hono zakainy teo “Indro zahay roy tsy hifampitetika”.

Dia nizaka lay rangahy iaban’ny zazavavy :

“Aha ! laha izany arika izy tsy olona zany zaho. Ka raha izany hindaoko arika raha zany zanako aman-jafiko fa tsy olona zany zaho. Laha efa tsy olona zany zaho, biby zany dia hindaoko zanako aman-jafiko, fa anao miarîna vady hafa, miarîna olona karaha anao fa ny ahy tsy olona hindaoko”.

“Dia nindaony hono zanany aman-jafiny. Teo raikalahy iny sisa teo.

Izy hono tany tany volana, niainga hono raikalahy nanaraky vadiny aman-janany”. Tonga tany hono izy dia :

“Zao hono diako. Ny diako hono dia halaky vadiko ary zanako”.

Nizaka hono raikalahy hoe :

“Aha, ny vadinao aman-janakao my tsy azonao koza. Fa nañano tsy olona añahy ianao”

“Aha ! hono hindaoko ny anahy, fa añahy io !”

“Aha, havory arika fokonolona !”

Dia navory ary hono fokonolona, navorin-drangahy iny. Dia nizaka izy laha arika vory fokonolona hoe :

「私が米搗きをしていた時、彼はあそこに座って「向こうに人が居るよ」って言うの。彼が先にお父さんを見つけたのよ。でね、私がよく見たら、（お父さんだと）わかったの。「あれはお父さんだわ」って私が叫んだの。だけど、彼は「へえ、君のお父さんなんだ？　また誰か他の人かと思ったよ」と言うの。でね、私が、「私のお父さんは人間ではないの？」って彼に訊いたの。そうしたら彼が、「それは人だと思ったんだ。それが君のお父さんと言うわけさ！」と言ったの。以上がさっき話していたことよ。と言うわけで、私たち二人、お互い考えていることがあわないのよ」

　そこで、女性の父親が言いました。

「そうか、彼がそう言うなら、私は人間ではないな。私が人間でないとしたら、私は私の娘と孫を連れて帰ろうかね。私がもはや人間じゃないなら動物だな。じゃあ、私は娘と孫を連れて帰ろうかね。君は他の妻を捜しなさい。君と同じ（人間の）妻を捜しなさい。人間じゃない私たち親子は、お暇するよ」

　父親は、娘と孫を連れ去ってしまいました。男性一人が、その場に残されました。

　何か月かして男性は、妻と子供を連れ戻すために出かけました。男性は、（妻の父のもとに）着きました。

「ここに来た目的は、私の妻と私の子供を連れ戻すことです」

　妻の父親が言いました。

「いいや！　君は、君の妻と子供を連れては行けないよ。なぜなら、君は私を人間ではないとしたのだからな」

「いいえ！　私の妻と子供を連れてゆきます。私のものですから！」

「それじゃ、村の集会を招集しようじゃないか」

“Antony namoriana andreo ? Ity zaza ravinanto ity, izy io dia vinantoko teñany. Kanefa laha, ninga taminjareo tany zaho hitsidika anjareo, zakainy fa tsy olona zaho ! Ka izay nitondrako vadiny ary zanany, fa tsy olona zaho ka ! Indaoko añahy, anahy tsy olona ! ka tonga ndreky izy hono hañaraka io, kanefa anahy efa zakainy tsy olona ka ino marina ?”

Dia nañontany hono fokonolona :

“Marina zany fa nozakainao takany reo volaña tôña ?”

“Marina zany, antsoin’ilay vinantony. Marina zany satria tsy olona hono moko fiheverako anazy io fa Zañahary e ! Zañahary se hono izy io aminahy fa tsy olona aby, fa Zañahary raha olona tsy sahy valiana, tsy sahy toravana. Zañahary se hono izy io”.

“E ! marina zany, hoy i fokonolona !”

Nirava ny havoriana. Azony my vadiny aman-janany. Resy lay rangahy rafozany. Zany hono ny amin’i tantara iny

Ny mpitantara: Pierre

その結果、（娘の父親の）男性によって村の集会が招集されました。村の人びとが集まってきたところで、その男性が言いました。

「みなさんにお集まり頂いた理由は何でしょうか？　こちらの子供は、私の本当の娘婿です。それにもかかわらず、私が彼らを訪ねるため彼らの家に着いた時、彼は私のことを人間ではないと言ったのです。そのため、私は彼の妻と子供を連れ帰ったのです。なぜなら、私は人間ではないんですから！　人間ではない私の娘と孫を私は連れ帰ったのです。そうしたら、娘婿がやって来て、娘と孫を連れて帰ると言うのです。しかしながら、私たち親子は人間ではないと彼に言われたのです。（と言うことで私は）間違っているでしょうか？」

村の人たちが、娘婿に質問しました。

「そのように君が言ったことは本当なのか？」

「ええ、本当です」と娘婿が答えました。

「本当です。なぜなら、私は人間ではなく、神だと思ったのです。私にとってそれは人間ではなく、神だったんです。神に、人間は口答えなんてできませんし、同じに扱うなどできません。それは神だったんです」

「ああ、それは本当だな！」と村の人びとが言いました。

集会は終わりました。男性は、妻と子供を取り戻すことができました。義父は負けてしまいました。以上がその物語です。

語り手：ピエール

4. NIANDOHAN'NY FANAMBADIAN'NY ZANAK'OLO AMPIANADAHY

"Niteraka aby antsena tôna, kanefa tsy nahita ny lalàn'ny fandidiana fanambadiana, andao antsena hanatona an'i Ndrenony ray aman-dreny, ka zeny zakainy akao dia mety mahatsara taranaka antsena" .

Io olona io, hoe :

"Akory ny hevitra ray aman-dreny, fa samby niteraka aby izahay, hampidiran'ny fanambadian'ny taranakay tôna tsy fantanay, dia mila hevitra aminao ray aman-dreny izahay. Ino ny marina aman'io ? Tsy hahadiso ny taranaka hanambady, hifampalaka ? Zey marina tondroinao ray aman-dreny, dia iny arahinay mandrakizay hatrany hatrany hatrany… Zany ny ingàna amanao ray aman-dreny".

"Amizany, marina anareo nañatona, fa raha mañanoñano foaña tany andreo, manapitra taranaka, ka izao hitondrana añazy : zanak'olo-mianadahy mahazo mifampalaka. Ny anabavin'olo mitera-dahy, anadahin'olo mitera-bavy : io mahazo mifampalaka, zanak'olo mianadahy. Zany anampahako ananjy, anareo mila hevitra aminahy. Zanak'ampirahalahy dia ampianadahy sady ampirahalahy, tsy mahazo mifampalaka. Zanak'ampirahavavy, na miteraka lahy raika, na miteraka viavy, ampianadahy fa tsy mahazo mifampalaka".

4.　キョウダイの子供同士の結婚の起源

「私たちはそれぞれ子供を生みました。しかしながら、結婚を取り決めるやり方について知りません。それでは、私たちの父に訊いてみましょう。父の言うことが私たち一族を幸福にすることでしょう」

　キョウダイの男性が言いました。

「お父さん、あなたのお考えはいかがでしょうか？　私たちはそれぞれ子供を生みました。私たちの一族の結婚のやり方を、私たちは知りません。そのため、私たちに、お父さんのお考えをお聞かせください。結婚についてはどのようなやり方が、正しいのでしょうか？　一族同士が共に結婚することは誤りではないのでしょうか？　お父さん、正しいやり方をお示しください。いつまでも永遠に私たち一族が結婚することが正しいのかどうか。お父さん、以上の理由でお立ち寄りしたのです」

「そのことについて、おまえたちが（私のもとに）来たことは良いことだ。もしおまえたちが、ただ結婚を繰り返すだけならば、一族は絶えてしまうであろう。結婚についてするべきは次のことだ。兄弟と姉妹の子供同士は、お互いに結婚して構わない。男の姉妹が息子を産み、女の兄弟が娘を産む。キョウダイ同士の子供たちは互いに結婚して構わない。これが、おまえたちが私の考えを訊いてきた事についての私の結論だ。兄弟同士の子供たちは兄弟と姉妹であり、結婚は許されない。姉妹同士の子供たち、すなわち一人が息子を産み、もう一人が娘を産んだ時は、兄弟と姉妹であり、結婚は許されない」

5. NY NIANDOHAN'NY TANANAN'AMBONIHIBOKA

Samy nanana ny toerany ananjy ny razambe taloha. Ry zareo Soalaza ato avaratra dia Androrangavola no foibeny. Ny Zafindravina dia zareo Ambodivolafotsy foibeny. Zahey Zafindrenisoa dia avy aty Tratramarina, akao ny foibeny. Zareo Renifarahoba dia avy any Maroandina no foibeny. Ny Andresolomäna dia avy aty Saharongana atsimo aty. Ka samby manana zara-taniny ireo olona ireo. Ka io tany voazara io dia tsy azo adifiana, tsisy mahazo mandika. Ka ny zara-tanin'ny Soalaza sy ny Zafindrenisoa dia hatrary ambinanin'i Loharandrana, dia mahazo ambinanin'ny Sanambalo dia manapaka akato amin'ny razana arizareo ity an-dRanomafana ity. Ekipa iray ireo dia ny Zafindrenisoa.

Anilan'ny rano ary dia an-dry zareo Renifarahova. Ka raha nahita ny tany malemy tato anilany atsimo ry zareo Soalaza avy tato Androrangavola dia nitsaka, nandika renirano ity zareo. Dia rafitry ny adin'ny olo-maventy reo araka ny tantara. Raha rafitry adin-dry zareo dia nifañaño zaka, nifañaño kabary zany ny fomban-drazana fa tsy dia hoe miady amina salohy na antsy fa vava no ampiadiana. Tsy efa ny zaka fa nanan-kery be zareo Soalaza noho ny fahaizany tamin'ny fizakana dia hoe zahey tsy mentsy mitsaka, dia nifanozoña hoe : laha taminay my tany io tamin'ny razanay, dia tsy mahazo aman'ny tany io andreo. Tsy izany koza fa andreo ka marina fa andreo marina dia mahazo !". Laha namboly vary ny olona Soalaza

5.　アンブニヒブカ村の起源

大昔、祖先たちは特別な場所を持っていました。北部のスアラーザの人びとは、アンジュランガヴーラが故地でした。ザフィンドゥレニスアの人びとは、アンブディヴーラフツィが故地でした。私たちザンフィンドゥレニスアの人びとは、チャチャマルナからここに来ました。レニファラフーヴァの人びとはマルアンディーナから来ており、そこが故地でした。アンドゥレスルマナナの人びとは、南サハルンガナから来ていました。これらの人びとは、それぞれ自分たちの領域を持っています。この領域を忘れることはできませんし、この領域を通り過ぎることは許されません。なぜならば、スアラーザとザフィンドゥレニスアの人びとの領域は、ルハランジャナ川の河口にまで達し、またサナンバル川の河口にまでも達しているため、ラヌマファーナ人びとの祖先を分断しているからです。ザフィンドゥレニスアの人びとは、一団を成しています。

対岸は、レニファラフーヴァの人びとの領域になります。アンジュランガヴーラから来たスアラーザの人びとは、川の南の岸に柔らかい土があることを見つけたため、川を渡り、その土地に入りました。その結果、伝承によれば、有力者たちの間で争いが起きました。彼らの間で争いが起きた時、彼らは演説やスピーチを交わしあいました。それが祖先の習慣であり、槍やら鉈やらを用いて戦うのではなく、口が戦いの道具でした。口による戦いは長くはありませんでした。なぜなら、スアラーザの人びとが、口による戦いにおける知識を持っており、圧倒したからです。そこで、スアラーザの人びとは、「我々は必ず川を渡る」と言い、互いに呪詛を行いました。「もしこの土地が私たちの祖先のもので、それゆ

io hitsaka, dia nisy karazana biby madinika, biby homam-bary zey atao hoe tafotona . Tapitra varin'olona io, tsisy nanana vary raika tamin'izany fotoana izany araka tantara. Zeny zareo vao nilavo lefona tamin'ny Zafindrenisoa ta-Tratramarina hoe "diso raha zahey", andreo marina ny tany fa dia hanefa zahey fa soniavo my ! Handoa omby".

Dia nandoa omby i olona io tany amin-dry zareo Zafindrenisoa dia nangataka tany any, nagata-potro. Namoron-toerana aty sy anaty ala manamorona ny vato fotsy iry no tena dian-dry zareo… Dia namorona toerana ry zareo, iry an-tampon'ny Tsaratanàna iry; Tany no namoronan-dry zareo tanàna, nomen-dry zareo Tsaratanàna anaran'i tampon-tany io. Tamin'ny andron'ny faha fahavalo, ka tampon-tavirana nanorenan-trano. Ka raha nipetraka teo zareo, avy taty aoriana lany ny adin'ny Andralanitra fa tonga i Vazaha. Tsisy koza Andralanitra mandravandrava olo fotsiny, tapaky ny ady, samy Gasy, samy Gasy. Dia namorona zareo ampitaka andohan'ny akao atsimon'ny tanàna tôny akeo, dia ambonina hiboka io toerana io dia nomenjareo anarana hoe Ambonihiboka se anaran'i tany io.Dia nanjary anaran'ny tanàna.

Taty aoriana ndraiky dia tonga Zafindrenisoa nanoatra hoe "olonantsena mañontany antsena, andao antsena hifañatona akao".Dia nanoatra tery a Tratramarina.

Niala avy tamin'ny foibeny tary aty daholo.Dia niara-nikambana hevitra hoe : "Zahey koa hañatona andreo". Dia midika zany fa i Soalaza tompo-toerana namorona ny tanàna, fa ny tompon'ny tany dia an'ny Zafindrenisoa, niara-nipetraka tato zareo. Dia samby

え私たちのものであるならば、あなたたちはこの土地について得る物はない。もしそうではなくあなたたちが正しいならば、あなたたちが正しく得ることになる」。スアラーザの人びとが川を渡ってそこで稲を作った時、タフトゥナと呼ばれる稲を食べる虫が現れました。そのため、伝承によれば、人びとのコメが無くなりました。その時は、一粒のコメを得た人も居ませんでした。そのため、人びとはチャチャマルナのザフィンドゥレニスアの人びとに対し敗けを認めました。「私たちが誤っていました。あなたたちが、この土地の持ち主です。私たちのものではありません。このことを残しましょう！　ウシを提供します」。

その結果、（スアラーザの）人びとはザフィンドゥレニスアの人びとに対しウシを贈り、その土地の一部を求めました。（スアラーザの）人びとがその土地に行った目的は、森の中の土地を拓き、白い石を得ることでした。彼らは、ツァラタナナの丘の頂上の土地を拓きました。彼らはそこに村を造り、そこの土地の主であるツァラタナナの人びとの名前をつけました。丘の頂に家を造りましたが、それはファハヴァル（敵対）の時代でした。彼らがその土地に住んでから後、白人たちがやって来たため、アンドゥララニチャと呼ばれた（マダガスカル人同士の）争いは終結しました。人びとを苦しめたアンドゥララニチャ[戦争]は無くなり、マダガスカル人同士の争いは終わりました。人びとは村の南側の下に、トゥンギと呼ばれる祈願の場所を造りました。その土地は、一杯になった（ヒブカ）と見なされました。（その結果）人びとはアンブヒブカと言う名前をつけました。この土地の名前が、村の名前となりました。

その後、またザフィンドゥレニスアの人びとがやって来て言いました。「私たちは私たち自身に問おう。私たちはもっと互いにそこに近寄ろう」。そこで、チャチャマルナに移りました。

vahona, samby manana ny toerana ombàna.Ary koa misy fahafatesana. Soalaza moa milevina any Androrangavola, Zafindrenisoa milevina ary Tratramarina. Dia mandalo tanàna fotsiny.

Fiafarany dia zareo Soalaza ndraiky namorona tetika voalohany nilaho rano teny Androrangavola :

“Sahirana zahey, hoy izy, fa toaka bitika aby aterina tsangambato dia aty. Ny maty aterina aty, fa zahey hanangana tsangambato akany”.

Dia zareo ndraika nahatonga vodyvato talohany, nanorina tsangambato zareo teto amin’ny nisy tanàna tôny. Ka laha niorina teo tsangambato io, ny tanàna tary andohany, dia nanahirana fa isan’ ny namono anomby zany dia rano maloto no tsemboka razana. Ka tonga ny valan’aretina nambely an-dry zareo, tapitry ny olona. Dia ny ampimasy, ampitsabo hoe :

“Mialà aketo andreo ka mivalàna !”

Dia nitateriny tsangambato, dia nafindra aketo tanàna. Taman’ny karatra ariary efatra nitondrana ny tanàna aketo. K’izy tonga aketo, ny nandray andraikitra taorian’izay dia ry Ingahibe Rainikatraka. Izany filoha avy tato avaratra. Ary ry Renisira avy tary atsimo, ry Tazanina… Izany filoha avy aroa atsimo, Zafindrenisoa. Ry ingahy Tsimeloka avy tary Tratramarina nanana zanaka napetraka aketo. Ilehio sisa manana taranaka izao. Dia zareo Soalaza tany moa mbola milevina any Androrangavola mandraka ankehitriny. Ny tsangambatony dia ety. Fa izahay Zafindrenisoa kosa avy taty aoriana dia nisy olana fa vinitra Tratramarina. Efa nilaza indray hono zahey ka tsara ho andreo Ambonihiboka andreo akany, ka faty

人びとはみんな、故地を去りました。考えを同じくして言いました。「私たちも、あなたたちのところにやって来ました」。それについては、スアラーザの人びとが村を造ったこの場所の主だと考えます。しかし、土地の主はここに共住してきたザフィンドゥレニスアの人びとです。それから、人びとはそれぞれ増え、それぞれの場所を得ることができました。その後、死者が出ました。スアラーザの人びとはアンジュランガヴーラに、ザフィンドゥレニスアの人びとはチャチャマルナに埋葬されました。彼らは、村を通り過ぎただけです［住んでいた村の土地に埋葬されなかったことを指す］。

最後に、スアラーザの人びとはまた計画をたて、アンジュランガヴーラに水を請いました。「私たちは、困っています。石柱に捧げるための少量の酒を、ここから運ばなければなりません。遺体もここから運ばなければなりません。ですので、私たちはそこに石柱を建立します」と言いました。

彼らは先ず礎石を送り、次にトゥンギのある村に石柱を建てました。この石柱が造られた当時、村は丘の頂にあり、ウシを供犠するたび毎に、汚れた水でツェンブカ・ラザナを作ったため、人びとは困っていました。ある病が人びとを襲い、人びとが死に絶えてしまいました。そのため、呪医が言いました。「そこを去って、降りろ！」

人びとは石柱を運び、村をその場から移しました。そこから村を移転させたのは、人頭税が 4 アリアーリの時でした。彼らがここにやって来ましたが、その時の（村の移転の）責任者は、ライニカチャカ氏でした。彼は、北部の人びとの長でした。また、レニシーラは南部出身、タザニーラは南部のザンフィンドゥレニスアの人びとの長でした。

チャチャマルナ出身のツィメルカ氏には、息子が一人おり、その子をここに残して行きました。そのため、彼らだけは今でも子孫が居ます。

aterina amanay. Indosy ny andreo io, indosy miherina

Dia nalain-dreo akany my, k'io nanaovana zaka dia nahavita fasan-drazana iry i Zafindrenisoa. Ambarakaly my tsy manam-pasana. Ka ny razambe nanorina ny fasana an-tavirana irery dia I Leloazonanilehambo. I Leloa zany moa dia efa hoe nametra an-dry Kirezo, kirezo nametra an-dry Mazava, Mazava an-dry Charles, Taranaka mbola aketo zany, taranak'i Leloy dia ry Pebala… Ny an-dRenisira moa dia ry Ingahy Boto faladia, ny an-dry Tsimeloka, ny taranany mbola mipetraka aketo dia efa maro my : ry Ingahy Soalaza, ry Ingahy Régis, sy ny zandriny rehetra miaraka. Ry zareo Teradia moa dia ry Bototsara. Ny ray aman-dreny mbola samy miara-mipetraka mandraka ankehitriny hita maso, dia Ingahy Kahamatra. Izay no ray aman-dreny be antitra sisa hita aketo fa ny sisa rehetra dia efa any ankoatra daholo. Ka ny mitondra tanàna dia tanora madinika zao. Ka laha dia zaho milaza aza dia Tangalamena mizaka, nefa ny taona dia mbola ambanimbany ihany, eo amin'ny dimy amby efapolo. Ka raha hitantara ny tanàna dia izany no tandrifin'ny hitako ka tsy mentsy hazavaina.

Ny mpitantara: REGIS

今日に至るまで、スアラーザの人びとはまだアンジュランガヴーラに埋葬されています。彼らの石柱は、ここにあります。私たちザフィンドゥレニスアには、最近問題があります。それはチャチャマルナに不満があるためです。既に述べたように、向こうのアンブヒブカに住むあなたたちの方が良い（ように見えます）。なぜなら、死者を私たちのもとに運んでいるからです。あなたたちの物を持って行き、あなたたちのもとに持って行ってください。

ザフィンドゥレニスアの人びとは、死者たちをそこに運び、話し合いをし、祖先の墓を造りました。その時まで、（その地に）墓を持っていませんでした。丘の上に墓を造った祖先は、レルアズナニレハンブでした。このレルアはキレズを生み、そのキレズはマザーヴァを生みました。マザーヴァはシャールを生み、まだここに住んでいるその子孫は、ペバラたちレルイの一族になります。レニシーラの子孫はブトゥ・ファラディア氏になり、ツィメルカの子孫で現在もここに住んでいる一族はたくさんいます。スアラーザ氏、レジス氏、彼らの子孫全てがそうです。テラディアたちは、ブトゥツァーラになります。まだこの村に現在も生きて住んでいる年長者は、カハマチャです。彼が、この村に住みまだ現在でも生きている最年長者になります。彼以外の年長者たちはもうあちらに行ってしまいました[死んでいる]。そのため、村を差配しているのは、現在は若い人たちになります。お話している私もタンガラメーナ[首長や族長]ではありますが、年齢は 45 歳で、まだ極めて低年齢であります。村の歴史についてお話するのであれば、以上が私の見聞したことであり、解説させて頂いた次第です。

語り手：レジス

6. ANDRALANITRA

Andralanitra io moko ady. Tamy fomba taloha dia nisy andevo ka zeny maharesy an'ady dia voaevo daholo. Ny avy aty minga mandrava atsimo akany. Ka na dia olona be manan-daza io aza tamin'io fotoana io dia mandrava olona akany, ka zey olo resy dia voababo, na vady aman-janany na fananany dia mpiasan-teña. Ela nisy koa ndraika tatsimo tany

Avy zareo dia minga aty mandrava. Avy any zareo dia mahery ny olo aty ka maharesy, dia miherina, tsy mahazo mamaly. Naharitra ela zareo nifamono ka !

Nisy mpanjaka nalaza, Ranganidanitra tao Ambatofotsy nifehy ny olona, niaro amin'ny ady izy fa tsy nisy ampanjaka taty. Olo nahery an'ady no nisy faha-Andralanitra, nefa nipetraka any aminy ihany izy.

Tsy niazon-teña tantara ny Merina talohan'ny vazaha.

Avy t'Androrangavola ihany ireo olona ireo.

Ny mpitantara: REGIS

6. アンジュララニチャ

アンジュララニチャ（と言う言葉）は、戦争を意味します。昔の習慣では、奴隷がいました。戦争に勝った者たちは全てを奴隷としました。この地方から、人びとは南に略奪に向かいました。たとえ高位の人びとと雖も、この当時は南の人びとを襲ったのです。その結果、負けた人びとは捕虜となり、妻子も財産も勝った人びとの用いるところとなりました。南部地方では、こんな事が長く続きました。

人びとが、略奪にやって来ました。彼らがやって来ましたが、ここの人びとは強かったため彼らを破り、人びとは退却し、再び侵略できませんでした。長い間、彼らはこのように殺し合いをしていました。

アンバトゥフツィ村にランガニダニチャと言う有名な王さまがおり、人びとを率いていました。王さまは戦争から（人びとを）守りましたが、この地方には王さまが居ませんでした。アンジュララニチャ[戦争]の時代には戦争のリーダーが居ましたが、彼は人びとと一緒に暮らしていました。

白人より前のメリナの本当の歴史を知りません。

これらの人びとは、アンジュランガヴーラからやって来ました。

語り手：レジス

Angano sy Tantara Masikoro

nangonin-d RAZAFIARIVONY Michel tao amin'ny faritr'i Toliary

1. NY VEZO SY NY MASIKORO

Nisy olo mpivaly nañan' añaky roe lahy. Ka i eo ie, nandeha nitsangatsanga tany anolo-driake ane ana-drozy reo. Ka nahita hevitsy hoe:

" Tsika koahe hiasa laka hisantsika amin'itoy ranobe toy…"

" Eka koahe! hoy ny raiky

"Niasan-drozy laka ka vita, nandeha amy zay rozy. Ka hoy i lihy raiky io hoe:

" Ndany koahy iha, fa tsy mahefa aho fa mavoko

"Eka, koahy ! hoy lihy raiky iny.

La nandeha rabe iny, ka hoy lihy raiky iny hoe :

"Voezo mafy koahe laka eny, "voezo! voezo!".

Avy an-tety eny laka eny.

"Eto koa koahy, hoy lihy raiky iny iha, fa handeha hanao ny haiko aho!"

"Eka, koahe, hoy i.

Nandeha i nangoro lambo, tondraky nanday maro i bak'ao. Ka hoy lihy raiky nanday laka iny koa hoe:

" Mba lihy "masiaky horo" koahe hoy i ty.

Izay no nahatonga ilay anarana hoe Vezo sy ny Masikoro

Ny mpitantara: Divaly ROLLANDSON

マシクル族の民話と物語

ラザフィアリヴニ・ミシェル　採録・翻訳

1.　ヴェズ族とマシクル族

昔夫婦がおり、夫婦の間には二人の息子がいました。二人の息子たちは、海岸に散歩に行きました。彼らは話をしました。
「この大きな川を渡るため、僕たちでカヌーを作ってはどうかな？」
「良いね」ともう一人の男の子が答えました。
彼らは一隻のカヌーを作りました。この作業が終わると、二人は出発することにしました。一人の男の子が言いました。
「君が先に行ってくれないか？　僕は怖くて行けないよ」
「良いよ」ともう一人の男の子が言いました。
一人の男の子が（カヌーで）出発し、残った男の子が言いました。
「カヌーをしっかりと漕げよ。漕げ！　漕げ（ヴエズ）！」
カヌーが向こう岸に着きました。
「君は向こう岸に居てくれ。僕は、僕のできることを見せたいよ」
「わかったよ」ともう一人の男の子が言いました。
そこで男の子は、イノシシを狩り、多くの狩猟した獲物を持って帰ってきました。そこで、カヌーを漕いで行った男の子が言いました。
「君はまたたくさん集めてきたね（マシアキ・フル）」
これが、ヴェズ（Vezo）族とマシクル（Masikoro）族の名称の起こりなのです。

語り手：ディヴァリ・ローランドゥソン

ラザフィアリヴニ・ミシェルによる註：ヴェズ族はマダガスカルの南西部の海岸部に住む漁撈民であるのに対し、その隣接民族であるマシクル族は、内陸で昔は狩猟を行っていたものの、現代では農業とウシやヒツジの牧畜を行っている。

2. NY OMBY

Nisy nahoda raiky atao hoe Nombà io. Olo mazoto militsa ala io nahoda io, fa mila tantely isan'andro isan'andro. Tamin'ny andro raiky nahoda eo, nahita hazo bevata loaka aty ka, nenteany ny ao anatin'ny hazo iny ka nisy raha misy hazo maiky ny lohany. Ka hoy ny volan'ny nahoda eny amin'ny valiny hoe:

"Ino, hoy i raha misy tsifany hazo maiky ny lohany ity?"

"Vasa lahy, hoy valiny".

Alàko koahy, hoy i, raha eo fa handesiko

La nalàny tamy izay biby misy hazo maiky ny lohany iny ; ka tsy niomby hazo iny raha eny fa bevata ka la, mpinatsiny hazo iny, ka vao izay niomby hazo iny biby iny. Ka la nandesiny amy mpanjaka any.

Hoy ny volany amy mpanjaka eny hoe:

"Intoy raha nihitako mpanjaka, tan-davan-kazoka ino ny homenao ny anarany ?"

La namaly mpanjaka eny hoe :

"Iha nahita azy,hoy i, ro mahay ny anara homenao azy".

Ka la namaly koa Nombà hoe :

" Hataoko hoe « omby »", hoy i mpanjaka, ny anarany fa raha io tsy niomby hazo misy azy iny, ka i mpinatsiko i vao niomby tao anatiny hazo iny vao nahazoako azy.

Ka izay mahatonga anaran'ny omby hoe « omby » io, fa naombin'Nombà tao anaty hazo. Ka io laha mimà ny omby ka manao "nombà a a… " satria Nombà no nifotorany".

Ny mpitantara: Divaly ROLLANDSON

2.　ウシ

昔、ヌンバと言う名前の男性が居ました。男性は頻繁に森に出かけ、毎日毎日ハチミツを集めていました。ある日のこと、男性は大きな洞のある樹を見つけました。男が樹の洞に入ってみると、先端が乾いた木などのものが中にありました。そこで、男性は、奥さんに言いました。

「先端の乾いた木があるけれど、これはいったい何だろうね？」

「わからないわ」と奥さんが答えました。

「じゃあ、持って帰ろう」と男性が言いました。

男性は、先端に乾いた樹がついている動物を一頭洞から引き出そうとしました。けれども、その動物は大きすぎて、樹の大きさきちきちでした。そこで、男性は王様のもとに行き言いました。

「王様、樹の洞で見つけたものがございます。これに何と名前を付けたらよろしいでしょうか？」

王様が答えて言いました。

「おまえが発見したものなのだから、おまえ自身が名前をつけるのが良かろう」

そこで、ヌンバは王様に答えて言いました。

「それでは、名前をウンビとしたいと存じます。ウンビが入っている樹の洞が狭いのでしたら、洞を広げて引き出しましょう」

これが、ウンビ（ウシ）と言う名称の起こりなのです。すなわち、ヌンバによって洞からウシが引き出されたのです。ウシが鳴く時、ヌンバと言います。なぜなら、ヌンバがその名称の起源だからです。

語り手：ディヴァリ・ローランドゥソン

深澤秀夫による註：マダガスカル語でウシを、ウンビ（omby）ないしアオウンビ（aômby）と呼ぶ。

3. NY NAHA ALIKA NY ALIKA

Nisy olo mpivaly, naña anaky telo lahy, ka fahatelony Lohañavao.

Nandeha nandeha rozy nila karama. Ka hoy koa Lohañavao hoe:

“ A! zaho koa, hoy i, handeha!”

“ Mandehana any iha”, hoy reniny, fa tsy raha olo mahalea.

“Aha ! handeha aho”, hoy i.

“ Eka moa !” hoy reniny.

Nandeha rozy… Nandeha rozy… I rozy fa anivon-tany ie, vozaky Lohañavao.

“Avia hotrotronay iha !”, hoy ro zokiny.

“Aha !” hoy i. “Apetraho eto aho, ka amorionareo kifoke vaho ameonareo bolò !”

La namory kifoke ro zokiny, la namory, la namory… I maro kifoke eny, nameandrozy bolò koa ie.

“Eo i, eo i… I lafa lavitsy ro zokiny ie, noroany kifoke eny. Mivontavonta setroky iny maña amin-dRañañahary any. Naniraky Ndrañañahary. La nandeha n’irak’i Ndrañañahary. I rozy avy amin’i Lohañavao eo, nanontany hoe:

“ Ia koahe Lohañavao manoro ato?”

“Zaho koahy ! hoy Lohañavao oo !”

“Nao hoe ! Vonoy bolònao zao”, hoy iraky rey fa manetroky an’i Ndrañañahary.

“Atavo an’izao”, hoy ie : “Lohañavao hoe manoro ao, fa tsy raha nanino anao? i raiky avao nataonao lohañavao fa tsy nataonao

3.　イヌの起源

昔、夫婦が居ました。夫婦には三人の息子が居ました。三番めの息子をルハナヴァウ[「唯一の頭」の意]と言います。彼らは、お金が欲しかったので、遠くに行くことになりました。ルハナヴァが言いました。
「僕も行くよ」と言いました。
「お兄さんたちだけが行きなさい。あなたはまだ無理だわ」とお母さんが言いました。
「いいや、僕も行くよ」とルハナヴァウが言いました。
「わかったわ」とお母さんが言いました。
三人の息子たちは、どんどん歩いてゆきました。途中でルハナヴァウは、疲れてしまいました。
「おいで。運んであげるよ」と二人の兄が言いました。
「ううん。僕をここに置いていって。乾いた木で僕を覆って、タールを塗って」
二人の兄は木を集めました。木を集めました。木を集めました。木が沢山集まったところで、兄たちはタールを塗りました。
弟はそこに残りました。弟はそこに残りました。二人の兄たちが遠ざかってしまうと、木に火をつけました。煙が上がり、それは神のところにまで達しました。そこで、神は行かせました。神の代理がそこに行き、ルハナヴァウに尋ねました。
「ルハナヴァウよ、ここで火をおこしているのは誰なのだ？」
「それは、僕だよ」とルハナヴァウが言いました。
「ああ。今すぐ火を消しなさい。煙がひどくて神がお困りだ」と代理が言いました。

manahaky ñ'olombelo oo !"

" Eka ! ",hoy iraky rey.

Nandeha rozy. Avy amin- dRañañahary ao

"Nao hoe… Lohañavao manoro fa tsy raha nanino anao, I raiky avao tsy nataonao manahaky n'olombelo oo!"

"Eka ! hoy Ndrañañahary, ka ampandehanonareo bak'ao ie."

Nandeha ndraiky iraky rey, avy amy Lohañavao eo ndraiky.

" Nao hoe! Mandehana iha!"

"Eka !". hoy Lohañavao.

Ka… Tratso any nareo, atavonareo zao i hoe bak'ao hoe i .

Nandeha iraky rey, avy amin-dRañañahary any…

Alohany ho nandehanany Lohañavao namonjy anjarà antitsy tseky i. Ka hoy ñ'anatsy anjarà iny azy hoe:

"Laha iha, hoy i ameany finga vola, kà mifità fa mihinana amy finga raty reo…"

" Eka ! ",hoy i.

"Laha ampipetrariny amin'ny sezy vola iha, kà mipetraky fa mipetraha an-tany eo."

"Eka !", hoy i.

"Laha mandro nareo, kà mandro amy handroany iny bak'ao iha, fa mandroa amin'ny maloto iny bak'ao, soa ho sikala amin'ny androany iny ao."

" Eka ! ",hoy i.

Nandeha Lohañavao. I avy amin-dRañañahary eo ie…

"Mipetraha añabo etoy koahy iha! hoy Ndrañañahary."

"Ahà !", hoy i.

「神様にお伝えください。ルハナヴァウが火をおこしておりますが、あなたに何かしましたでしょうか？　あなたはルハナヴァウをお作りになられたものの、他の人間たちと同じようには作られなかったのです」と言いました。
「承知した」と代理が言いました。
　代理は行き、神の所に戻ってきました。
「ルハナヴァウが火をおこしておりました。しかしながら、神への害意はありません。神は、ルハナヴァウを他の人間たちと同じようには作られませんでした」と代理が言いました。
「あいわかった。ここにそのものを連れてくるよう」と神が言いました。
　代理は再び出発し、ルハナヴァウのもとにやってきました。
「（神のもとに）行きなさい」。
「良いよ」とルハナヴァウが言いました。「向こうでお待ちくださいと、神様に言ってください」。
　代理は、神のもとに戻りました。
　ルハナヴァウは神のところに行く前に、一人の老婆を訪ねました。
「もし神が銀の皿を出したら、（それを受け取らずに）粗末な皿でお食べ」と老婆が言いました。
「わかったよ」とルハナヴァウが言いました。
「もし神が銀の椅子に座らせるなら、地面にお座り」
「わかったよ」と言いました。
「もしおまえたちが水浴するなら、同じ水で水浴するなら、汚れた水で水浴おし。神と一緒の水を使わないよう」
「わかったよ」と言いました。

“Ndao tsika hihina”, hoy Ndrañañahary
“Hihina an-tany eto aho.”
“Ndao handro tsika”, hoy Ndrañañahary.

Nandro baka amin’ny maloto iny ao Lohañavao la nisikala amin-dRañañahary ao. La … nisy taña, nisy vata, nisy tomboky Ka hoy ny safàny amin-dRañañahary :
“ Ino”, hoy i, ny raha hivelomako henan’izao ?
“ Hameako hañaña maro iha”, hoy Ndrañañahary.

La namean-dRañañahary hañaña ie .

Nandeha ie noly. Avy eo …
“Toy tsika !”, hoy Lohañavao
“ Eka ! “,hoy ro zokiny.
“Ingo”, hoy i, ny hananantsika namean-dRañañahary ahy ka mangalà nareo
“Tsy mahefa mangalaka rahay”, hoy i, fa tsy iha olo niraty zay laha fa tany ka nisoa, tsy vao sandraky rahay, olo soa io tsy ho soa mare laha mandeha any !
“Eka moa !”, hoy Lohañavao.
Nandeha rozy … Nandeha rozy … Avy amin-dRañañahary ao.
“Ndao hihina” hoy Ndrañañahary.
“Eka, hoy i
“Ndao hihina” hoy Ndrañañahary.

La niharo fandroa amin- dRañañahary rozy, ka la nisikalo tamin’ny maloto iny ao. Ka … la nisy hohy, la nanjary alika.

Zay nahatonga ny alika io. Nialika ñ’olo taloha ka mba tokony hataontsika olombelo soa fa nihavantsika. Ka izay itiavan’ny Vazaha ny alika io satria olombelo.

Ny mpitantara: Divaly ROLLANDSON

ルハナヴァウは行きました。神のもとに着きました。
「おまえは、ここにお座り」と神が言いました。
「いいえ」とルハナヴァウが言いました。
「さあ、一緒に食事をしよう！」と神が言いました。
「僕は、地面の上で食べます」
「さあ、一緒に水浴びしよう」と神が言いました。ルハナヴァウは神とは一緒ではなく、汚れた水で水浴びしました。と、ルハナヴァウには、腕が、胴体が、穴ができました。
そこで、ルハナヴァウは神に言いました。
「（こんな身体になり）これからどうやって生きていったらいいの？」と言いました。
「わたしはそなたにたくさんのお宝をあげよう」と神が言いました。
神は、ルハナヴァウにたくさんのお宝を下されました。
それから、ルハナヴァウは（両親のもとに）戻ってきました。
「戻ったよ」とルハナヴァウが言いました。
「おう、そうか」と二人の兄が言いました。
「ここに神様が僕にくれたお宝がたくさんあるよ。持って行ってくださいな」
「僕たちは受け取れないよ。そこに行く前、おまえは醜かったが、美しくなった。もしそこに行くと、美しくない人間も美しくなるなら、僕たちはより一層美しくなるだろうな」と兄たちが言いました。
「そうだよね」とルハナヴァウが言いました。
彼らは行きました。彼らは行きました。神のもとに着きました。

「さあ、食べよう」と神が言いました。二人の兄たちは神と一緒に水浴びしました。神も汚れた水を使いました。その結果、二人の兄には尾っぽが生え、イヌになってしまいました。

こうして、イヌがあらわれたのです。イヌは昔人間だったわけですから、私たちはイヌを親族として人間のように大切に扱うべきなのです。白人たちがイヌを愛するのも、昔は人間だったからです。

語り手：ディヴァリ・ローランドゥソン

4. NY FOMBAN'NY AMPANJAKANAY MASIKORO

Ny fombanay Masikoro dia misy fomba atao hoe « TAMPOKY » zao. Ny dikan'ny « Tampoky » io dia izao. Andesy any amin'ny rano atao hoe "Ranonjaza" zao ny "Volamena" (Jinin'ampanjaka). Manao tabàsy (Kolondoy) sy mamototsy eo amin'ny tranon'ampanjaka hangalà volamena rey eo, ka hatrany Andranonjaza. Miloha lala ny Kiriamena manday lefo. Fa ze olo manampaky lala iny, la tombohin'ireo Kiriamena reo lefo. Misy ampela raiky koa mitondra sajoa fotaky, mifono siky mena misy rano mañîtsy. N'olo manday an'ireo Volamena reo, tsy manday kalisô.

Ao Benetsy ny misy an'ireo Volamena reo. Mandalo ao Saririake vao zay mañavaratsy ho any Andranonjaza Belavenoke. Laha fa avy ao Andranonjaza ny volamena, mieñy tseky.

Atao mare ny tabàsy. Militse eny anâty rano ny Kiriamena manday lefo. Vangoeny ny rano mba hitoban'ny voà fa misy voà io rano io. Alohan'ny hilinan'ny Volamena, militsy ndraiky ny Kiriamena manday lefo. Vao izay militsy koa ny mpanday Volamena, milahatra ara-pizokiana. Samby miepoky ao añaty rano rozy iaby. Vangoen'ny Kiriamena ny rano. Samy misy olo kandraiky kandraiky baka afarañ'olo manday Volamena reo mba hanasa ny Volamena halio soa

Manao tabàsy mare ñ'ampela. Miondrika ireo olo manday Volamena reo, lafa sasà ny Volamena . Mba tsy hahazo ireo Volamena ireo ny rano, babeny an-dohan-drozy. Misy taliny reo Volamena reo mba tsy

4. マシクル族の王の習慣

マシクル族の習慣には、タンプキ[王の聖遺物の沐浴]と呼ばれるものがあります。タンプキの意味はこう言うことです。ラヌンザザ[子供の水]と呼ばれる川に、＜金＞と呼ばれる王の遺物を運びます。王の家においてクルンドゥイと呼ばれる祝いの歌を歌い、踊りを踊ってから、その＜金＞を持ち出し、アンドゥラヌンザザ川まで運びます。槍を持ったキリアメーナと呼ばれる男たちが、先導します。これらのキリアメーナたちは、道を横切る者を槍で突き刺します。赤い布を巻いた一人の女性が、冷たい水が入った土製の壺を頭に載せて続きます。＜金＞を運ぶ人は、ズボンをはくことはできません。ベネツィ村に、＜金＞が置かれます。一行は、サリリアケ村に立ち寄り、その後アンドゥラヌンザザ川のベラヴェヌケ村に向けて北行します。アンドゥラヌンザザ川に＜金＞が到着すると、それを風にあてます。

祝いの歌をさらに力強く歌います。槍を携えたキリアメーナの男たちが、水の中に入ります。その川にはワニがたくさん居り、ワニを追っ払うため彼らは水面を叩きます。＜金＞を沐浴させる前に、槍を携えたキリアメーナたちがもう一度水に入ります。＜金＞を携えた人びとが水に入る時は、年長順に並びます。キリアメーナたちは、一人ひとり水中で跪きます。キリアメーナたちが、水面を叩きます。きれいに洗うため＜金＞を運ぶ人の後ろには、必ず一人男性がつきます。女性たちは、祝いの歌を唄います。＜金＞を洗う時、＜金＞を携えている人びとは、上体を前に傾げます。＜金＞が水をかぶらないよう、頭の上に載せます。＜金＞には落ちないよう介助者がつきます。（＜金＞に水がかからない

ho latsaky. Miepoky ndraiky, miepoky…avy eo miranga amin'izay. Mitany eo alohan'ny olo maro reo olo manday Volamena reo mba hitantarà azy. Manday lefo eo anilany ny Kiriamena. Reviho no anaran'io Nahoda mitantara azy io. Reto aby ñ'añarany:

Mañetrarivo,
Mañevarivo
Mivahatsarivo
Ndramanampoarivo
Ndreampoty.

Io lehilahy Mivahatsarivo io lehilahy matanjaky, nialy t amin'ny Vazaha io

Ny mpitantara: Divaly Rollandson

Fanazavana: Ireto avy ny fitambaran'ny jiny: savika, vazana, kinky, hiny ambony, him-boay, volamena

ようにしながら）一人ずつ水に浸り、立ち上がります。そして、＜金＞を待ち受ける大勢の人たちの所にやって来ます。＜金＞を受け取る男性が、その＜金＞に関する伝承を物語ります。キリアメーナたちは、その間に槍を受け取ります。レヴィフが、王の伝承を語る人の名称です。以下が王たちの名前です。

マネチャリヴ
マネヴァリヴ
ミヴァハツァリヴ
ンジュラマナナプアリヴ
ンジュレンプティ
ミヴァハツァリヴはたいへんに剛毅な男で、白人とも戦いました。

語り手：ディヴァリ・ローランドゥスン

ラザフィアリヴニ・ミシェルによる註：（王の）聖遺物は複数の部位から成る。肩甲骨、臼歯、爪、ワニの牙、金である。

5. NY FOMBA FANGATAHANA VALY

Ireto olona roy : MAHATOKY maña anaky lehilahy (Tsiebo)
TSIERY maña anaky ampela (Repela)

Nandeha Mahatoky hangataky valy ho an-janany. Ny anak'iTsiery no hangatahiny:
"Toy tsika lahy, akory iaby nareo eto?"
"Eto lahy zahay tsy mañahy fa nareo koa roy?"
"Avy eto lahy zahay mangataky kihokihon-kida, kohokihom-posiky…"

Namory ny havorotany amin'izay Tsiery. Nivola amin'izay Tsiery nanao an'izao:
"Fa vory lahy zahay !"

Nivola amin'izay Rangahy Mahatoky:
"Avy eto lahy zahay fa hangataky valy."

Dia namaly Tsiery:
"Ia amin'añako reo lahy ro ilanareo?"
"Repela lahy ro ilainay."

Nivola Tsiery:
"Añako anie ebo!"
"Teako avao ndra ebo vinantoko. "

Kinaik'i babany Repela ka nanao an'izao fivolaña:
"Baka aminao ro niavian-drozy eto… E lahy fa ny filà ilanareo io fa maneky."

Nanontaniana ny mpangala-bady:
"Olo baka aïa nareo?"

5.　嫁を求めるやり方

登場人物：マハトゥキには、ツィエブと言う息子が居ます
　　ツィエーリには、レペラと言う娘が居ます

　マハトゥキが、息子のために嫁を捜しています。マハトゥキは、ツィエーリの娘を嫁として求めます。
「私たちがここにまいりました。みなさまはいかがでしょうか？」
「私たちはここにおります。元気でおります。あなたがたはいかがでしょうか？」
「私たちはここにバナナの芽、すなわち子孫を求めにまいりました」
　それから、ツィエーリは、家族を呼び集めました。家族を呼び集めると、ツィエーリが言いました。
「私たちは、集まりました」
　今度は、マハトゥキ氏がしゃべりました。
「私たちはここに、嫁を求めるためにやって来ました」
　ツィエーリが答えました。
「あなたたちは、私の娘たちの誰をお望みでしょうか？」
「（娘さんの）レペラさんを希望しております」
　ツィエーリが言いました。
「娘は、不束者でございます」
「不束な息子の嫁を好もしいと思います」
　父はレペラを呼びにやり、言いました。

“Zahay lahy baka Betsioky, Masikoro, firazaña Maromaso.”
“Misaotra añareo nañambara lahy fa zahay io tsy mahay ka mba mañontany… E lahy fa homena anareo Repela, fa mba tsy ho helinontsika lahy ny raza iny sy ny raza matoa iny.”

Dia niteny ny mpangala-bady ka nanao an’izao:
“ Misaotra anao nañome kihokihon-kida sy kihokihon-posiky iny fa raza tsy helino. Ho avy zahay amin’ny zoma ka mba avorio ho tratsinay ny havorotanareo sy ny olobe!”
“E lahy fa re zao ka mba ny famoria azy avao ro sisa”

Avy ny zoma hanaovana ny fanambalia. Indretiky ro Mahatoky miaraka amin’ny havorotany manday tamaña vondraky hanaova soritsy. Vory koa ny fokoan’i Tsiery miaraka amin’ny olobe. Eo amin’ny tranon’ny mpisoro no hivoria. Nivola ny olobe nandesin’i Mahatoky:
“Indreto lahy zahay avy eto : ndra niavy omaly, avy eto koa androany mangataky ny kihokihon-kida, ny kihokihom-posiky, mangataky Razaza iny!”
Namaly ny olobe tompon’anakampela :
“Fa namea anareo ny raha nangatahanareo. Fe zao, ahy ny kihonkihon-kida ny kihokihom-posiky fa aombinao io vondraky, fe tsy misy trafo?...”

Ka nivola ny olobe mangata-baly:
“Ingo drala efa-jato trafonaombiko”

Nivola ny tompon’anakampela:
“Ameonareo ny drala efa-jato ka alavo ñ’aomby”

Maty ñ’aomby fa biby mañaña ay; tonon-kena roe nomen’ny tompon’anakampela ho an’ny tompon’anakilahy

Mpivaly Tsiebo voho Repela. Vita ny raharaha.

Ny mpikabary: Lombiho Céléstin

「これらの人たちは、おまえのところにやって来た。わかりました。あなた方の願いはかないました。娘が承諾しました」

嫁を求めて来た人たちに質問がなされました。

「あなた方は、どこからいらした人たちなのですか？」

「私たちは、ベツィウキから来た、マシクル族、マルマス一族の者です」

「お答え頂き、ありがとうございます。私たちはその事がわからなかったものですから、質問させて頂いた次第です。では、レペラをあなたがたに差し上げましょう。とは言え、私たちは祖先と祖先の事柄を忘れないようにしましょう」

嫁を求めて来た人たちが答えました。

「バナナの芽と子孫をお与え下さり、ありがとうございました。祖先を忘れはしません。私たちは金曜日に戻ってまいります。あなたがたの一族および長老の方々にお集まりください」

「承知いたしました。（金曜日に）集まることだけが残っております」

結婚式を行う当日の金曜日になりました。一族と共にマハトゥキは、結婚を証すための太った牝牛を連れてきました。ツィエーリの一族および長老たちも集まりました。供犠を行う人[一族の司祭]の家の前に集まりました。マハトゥキの連れてきた長老が言いました。

「私たちは、ここにやって来ました。私たちは昨日も来ましたし、今日もバナナの芽と子孫、そしてそちらの娘さんを求めるため、やって来ました」

娘側の長老が言いました。

「私たちは、あなた方の求める物を既に差し上げました。けれども、バナナの芽は私どものところにある一方、あなたがたのウシは太っておりますが、コブがありません」

嫁を求める一団の長老が言いました。
「ウシのコブとして四百アリアーリのお金がこちらにあります」
娘側の長老が言いました。
「では、四百アリアーリをお渡しください。またウシを連れてきてください」
ウシが屠られましたが、生きている動物です。娘側の長老によって、肉の塊二つが嫁取り側の長老に贈られました。
ツィエブとレペラは結婚しました。結婚式は終わりました。

語り手：ルンビフ・セレステン

6. KOTOPAMINTA

Eo Kotopaminta. Kotopaminta mandeha an-drano any, olo masikia, tsy mana ino ino.Folo limy amby ñ'anak'i Kotopaminta. Tsy misy raha avelona azy laha tsy mandeha haminta avao. Mandeha maneno akoho hita avy hoeny io. Isan'andro noho izao, manday anaky toho efatsy, manday anaky fia lime!...

Farany, nandeha ampanjaka eny nitampoky amy serana io eo. Ka hilohilo ampanjaka iny, hilohilo.. Lafa tsy nisy olo teo, la nalàny malaky satrony iny ka nandeha niepoka an-drano eo i. Ny lohany fito!...

Eo Kotopaminta, tseriky. Mikafotsy eo am-poto-bondro eo avao i. Nandeha ampanjaka iny. Ela moa ny fitampohany an-drano eo fa manao fandroan'ny garadokitsy i, mitsilepotsilepoky avao lafa miala tsy noho trats'olo amy lohany fito io. Fa nanonga an-tety ie la satrony ine, ro rinambiny aloha vao zay nisiky ie, nataony an-dohany eny. Nandeha i. Tseriky Kotopaminta nanonga an-tety eo.

"Nao lahy ! Tseriky aho!... Mpanjaka, ny lohany fito ! Ka ndra ho valiny tsy mahita an'iny, ndra ñ'anany tsy nahita raha iny. Ka ie hoy i, nahita azy!... Zao hambarako ny valiko raha tsy maty aho, tsy raha mahatam-bola ñ'ampela, ho ren'olo ka ho maty aho. Hambarako hazo ty raha toy, handesin-tsioke, ho ren'olo ka ho maty aho. A! Sitrako hialiako lavaky. Hinaliny ny lavaky amy saraña io eo. Hinaliny, hinaliny… La ie la nilaliky raha ine e…"

"Mpanjaka fito loha ! Hà !...- nakahany amy zay raha ine, ka la

6. 漁夫クトゥ

クトゥパミンタナ[漁夫クトゥ]がいました。クトゥパミンタナは川に（漁に）行きますが、貧しい男で、何も所有していませんでした。クトゥパミンタナには、子供が十五人いました。魚獲りに出かけないと、食べる物はありませんでした。明け方には魚獲りに出かけました。毎日そんなありさまで、魚を四、五匹を獲っていました。

ある日のこと、王さまがその川に水浴びに出かけました。王さまは用心して辺りをうかがいました。そこに人が居ないことを見計らい、急いで帽子を脱いで、川に入ってゆきました。王さまには頭が七つありました！

その場に居合わせたクトゥパミンタナはびっくりしました。彼は、葦の根元に隠れていたのです。王さまは、川に入ったままでした。王さまの水浴びはアヒルの水浴びのように長く、人に七つの頭を見られないよう、水中に潜ったままでした。王さまは川から上がると、服を着るよりも前に帽子を頭に被りました。クトゥパミンタナがそこから立ち上がりました。

「へ〜。びっくりした！　王さまが、七つの頭だったとは！　奥方も子供もそれを見たことがないとは。彼一人だけが、それを見ていたとは。もし私が死ななければ、私はそのことを妻に明かすだろう。妻は、その言葉を抱えたままにはしないだろう。人の耳にするところとなり、私は死ぬことになる。もし私がこの木にそのことを明かしたとしても、風が運んでゆき、人の耳にするところとなり、私は死ぬことになる。ならば、私は穴を掘ろう」

linembiny – Tsy hitan'olo zay, sady rean'olo, hoy i. Linemby soa. La tinotony fasy soa lavaky iny la nimindramindry".

Eo i, nandeha i an-tanà any. Herinandro, tomiry raha iny, tomiry volamena, tomiry volafotsy. Baka tinàna mandeha manavaratse tomiry volamena. Baka antimo mandeha manavaratsy andrefa nitiry volafotsy. Nirodorodo be raha iny, la hoeny foto-kily io. Mandeha n'olo mandeha an-drano any, n'ampela mantsaka. A! avy amin'ampanjaka eo:

"Nao raiko!"

"En".

"Raha amin'ny fitampohanao zao lahy. Raha mahatseriky an-teña zao"

"Ino zao?"

"Ao raiko raha soa zao, mipiripiriake. Tsy misy raviny raha zao fa la voany avao ka ! la mipiripiriake la soasoa"

"E! hoy i, ndao fa hinteako any".

Ninteany raha iny ka tinankaliny nimpoly i

Tsiniony ñ'antsiva… Tsiniony ñ'antsiva… Nihoro ñ'olo ony avy eo.

"Hamoriako anareo hoy i, raha nataonareo an-drano àty ity".

"A! rahay raiko tsy nanao an'io. Tsy hainay zao!"

"A! Filàko ny volanareo hoy i io, fa tsy misy mahay raha io laha tsy Kotopaminta. I avao mahay raha io. Ilaonareo any Kotopaminta. Nilà Kotopaminta, nilà… Kinotoba amy fotaky ine, tsy hita".

"Tsy hitanay raiko".

"Ao zay ka ilaozanareo fa tsy raha aïa".

彼は、川岸に穴を掘りました。彼は深い穴を掘りました。彼は深い穴を掘りました。深い穴ができました。

「王さまは、七つの頭だぞ！」。彼はその事を穴に吐き出すと、穴を埋め戻しました。もう、人には見られませんし、人には聞かれません。完全に埋められました。上に砂をかけ、穴はきれいに埋め戻されました。

クトゥパミンタナは、村に帰りました。一週間後、その場所には、金や銀が生えました。北側からは金が、北西側からは銀が生えました。それらは成長し、タマリンドの木と同じ大きさになりました。人びとが川に行きました。娘たちは水汲みに行きました。川から戻ると、王さまに奏上しました。

「王さま」

「何用じゃ？」

「王さまが水浴びをされる場所に、たいへんに驚くべき物がございます」

「それは、何じゃ？」

「そこには、輝く美しい物がございます。葉はございませんが、輝く美しい実だけがございます」

「あい分かった。余、じきじきに見に行こうではないか」

王さまがそれを見に行かれ、夜になって村に戻りました。

ほら貝が鳴らされました。ほら貝が鳴らされました。人びとが皆集まってきました。

「おまえたちが川でしたことについて、私はおまえたちをこの場に招集したのじゃ」

「王さま！　私たちはそこで何もしてはおりません。私たちは全く何も知りません」

I moa lahy fa olon-drano ka… Niazo hitsaky bak'ao.

"A! Toy lahy! Toy lahy".

"Nanino aho?"

"Andao iha fa ilan'i ampanjaka eny".

Nandeha… Avy any.

Ilàko anao hoy ampanjaka iny, raha nataonao an-drano ao oo.

"Oh! Tsy nanao an'izao aho raiko. Ino hain-teña Kotopaminta noho an-drano io avao".

"Hainao! Hoy ampanjaka iny, fa ataonao tsy hainao avao. Laha io androany tsy ambaranao, la tampahiko ny lohanao, la tetehiko aby anakareo re ho matemate".

"Hay! ndra… Hovonoenao aho laha ambarako io".

"Tsy hovonoiko iha laha mivola soa, fa laha tsy mivola iha ka hovonoeko iha!"

"Ah! aïa moa ranandria fa… zaho lahy likanao aho… Iha nitampoky an-drano ao io…"

"Volàno koahe! volàno soa ka misantsà iha!"

"Hum!... iha moa koahe… aïa moa raiko ka… iha mitampoky iny, ninteako iha ka nifito ny fisianao. Fe zao, laha hambarako ny valiko, hoy aho, ho ren'olo ka ho maty aho. Hambarako tsioke iny, ho ren'olo ka ho maty aho. Ka izao, nihaliako lavaky."

"Eh! Ka nataonao ahoa?"

"Natao ahoa fa fanantetin'i ampanjaka iny nataoko fito la linembiko".

"E… hoy ampanjaka iny. Ka hatao ahoa raha io?"

"Teña moa ampanjaka Kotopaminta, koa ino hitan-teña fa laha teña

「おまえたちの言葉を確かめたまで。そのことについてクトゥパミンタナ以外誰も知らないのだな。彼だけが、その事について知っているのじゃな。クトゥパミンタナを連れてまいれ」

　クトゥパミンタナを捜しました。捜しました。沼地まで捜しましたが、見つかりませんでした。

「父つぁんは、見つかりません」

「居場所を知らせよ。居ないはずはない」

　彼は、川の人間だったので。人びとは川で彼を捕まえました。

「この男だ！　この男だ！」

「私が、どうしたのですか？」

「さあ行こう。王さまがおまえをお探しだ」

　彼らは川から戻りました。

「そなたが川でしたことについて、そなたを呼んだのだ」と王さまが言いました。

「ああ、王さま（父よ）、私はそこで何もしておりません。私、クトゥパミンタナは、川の事以外は何も存じません」

「そなたは知っておろう！　知らないふりをしているだけじゃ。この場で真実を明かさないならば、そなたの首を刎ねるぞ。さらに、そちの子供たちもバラバラにして殺そう」

「ああ！　もし私がその真実を明らかにしたら、あなたは私を殺すでしょう」

「そなたが真実を述べるならば、余がそちを殺すことはない。もし真実を述べないのであれば、そちを殺す」

「ああ、王さま、私は、牡イヌにすぎません。　そう、あの川で、水浴され・・・」

nanan-kañaña, namono aomby mena la vositsy mena aho".

"E! hoy ampanjaka iny. Ndao tsika!"

Linenta eny aomby mena iny, nahifikifiky ka tinokan'i Kotopaminta raha iny, hinozo raha iny la nipiky telo, la niombotsy iaby ny voany .

"E ! hoy nataon'i ampanjaka iny. Izao ñ'ahy aminareo fokonolo, nareo tanibe toy: Kotopaminta, afaka androany ny maha Kotopaminta azy, fa tsy Kotopaminta sasy fa ampanjaka manahaka ahy, Andrevola manahaka ahy . Ka tapa-tanà mañandrefa, mandeha mañavaratse, an'i Kotopaminta. Tapa-tanà maniñaña, mandeha mañantimo, fehiko zay. Fa afaka androny maha Kotopaminta an'i Kotopaminta fa ampanjaka".

La tinapaky ny hanà iny, la nampandroe. Kotopaminta la tinàko, la niavy an-tanà any, la natao fisà be".

Izay, Kotopaminta, tariky ny vezo. Ka vezo reo zao laha an-tety amintsika atoy la hambole tsy velo. Rano io ro mahavelo an-drozy satria nahavelo an'i Koto. Tarik'i Kotopaminta i Vezo reo.

Ny mpitantara: RASAMBANY Refara

「話すのじゃ！　真実を話すのじゃ。ためらうでない！」
「あのう、王さま、申し上げます。え〜、王さまが水浴された時、私はあなたにある物（頭）が七つであることを見たのです。それで、もし私が私の妻に明かしたら、人が聞くところとなり、私は死ぬでしょう。もし私が風に話したら、人が聞くところとなり、私は死ぬでしょう。と言うわけで、私は穴を掘ったのでございます」
「ふ〜む。で、おまえは次に何をしたのじゃ？」
「私のしたことは、王さまが七つ（の頭）であることを（穴に）吐き出し、埋めたのでございます」
「なるほど。それで、今起きていることについてはどうするつもりじゃ？」と王さまが尋ねました。
「ああ、王さま。私はクトゥパミンタナであります。見た通りでございます。もし富者でございましたら、私は赤い去勢牛を屠ったところでございます」
「良かろう。そうしようではないか！」と王さまが言いました。
　赤ウシを屠りました。クトゥパミンタナがそのものを揺らすと、三つに割れて砕けました。その実は全て落ちました。
「おお」とその時王さまが言いました。
「おまえたち村の者皆にわしは次のように告げる。クトゥパミンタナ、この者は本日より、クトゥパミンタナに非ずして、私と同じ王、私と同じアンジュレヴーラ一族なるぞ。それゆえ、村を半分に分け、西側と北側をクトゥパミンタナのものとする。村の東側と南側を余の領域とする。本日より、クトゥパミンタナはクトゥパミンタナに非ずして、王なり」
　財産も分割し、二つに分けました。クトゥパミンタナを沐浴させ、村に戻ると盛大な宴を行いました。

このようにして、クトゥパミンタナはヴェズ族の人びとの祖先となりました。そのため、ヴェズ族の人びとは、私たちのように農耕では生きてゆくことができないのです。クトゥパミンタナもそうやって生活していたように、水が彼らを生かしているからです。ヴェズ族の人びとは、クトゥパミンタナの子孫なのです。

語り手：ラサンバニ・レファーラ

7. AMPELAMOA

Teo Ampelamoa, valin'i Zatovo. Ka moa ampela io. Mirafy rozy, mirafy efatsy. Fahefany Pelamoa. Ka farany ampela iny, niteraky, niteraky anakilahy. Ka ia moa lahy, teña moa ka ia hibeko azy ? …

"Ka io, hoy valiny, lafa tomany anako oo, tsy hana olo tsika ! Lafa tomany anako ie, hanamin'ny anako any aho".

"Eka lahy !"

Tomany zaza iny, nandeha, nandeha Zatovo nandeha ao. Tomany Lahivola, tomany zaza iny …

(beko)- *Masina, masina e, Laivolako e ! Laivolako e !* …

Zao ajà iny, isan'andro tomany, isan'andro tomany. – Masiaky fa vola- …

Mandeha Zatovo, mandeha hamanga:

"Ingo anako oo, nareo valiko zao fa zaho handeha".

Nandeha Zatovo bak'eo, tomany zaza iny ao. Nandeha rafin'ny valin'I Zatovo rey, handeha hibeko ajà iny an-trano ao.

"*Laivolako iny*…"

Iny la miroso ajà iny … Vaky koa ny andro … Masiaky fa vola.

Farany, tsy niavy ao rafiny rey, nitany zaza iny ao. Farany Pelamoa nivola :

"*Masina, masina, Laivola a ! ... Laivolako e ...*"

I maraindray ie :

"K'anao ro lahy ampanjaka va niavy, va nareo ro tao ?"

"Ay ! Tserehanay io fa Remoa mibeko anany io".

7. 唖の女

昔、アンペラモア［唖の女性］はザトゥヴの妻でした。そのため、その女性は唖でした。彼には四人の妻がおり、アンペラモアは四番目でした。とうとうその女性が生みました。息子を一人生んだのです。彼女は完全な唖だったため、誰がその息子の面倒をみるのでしょうか？（との問題が起きました）。

「ならば、こうしよう。もし子供が泣いた時、私たちには（手助けのための）人がいない。私の子供が泣いた時は、私が子供を抱き上げよう」

「わかりました」

こうして、子供が泣くと、ザトゥヴが駆けつけました、彼がその場に駆けつけました。ライヴーラが泣くと、その子が泣くと：

「聖なる、聖なる、私のライヴーラよ！　私のライヴーラよ！」

毎日、毎日、（子供が）泣くと、こんな有り様でした。

ある日、ザトゥヴが出かけました、商売に出かけました。

「妻よ、私の子供を置いて行くよ。出かけるよ」

ザトゥヴが出かけてしまうと、その子供が泣きました。その子に家で歌を唄うために、ザトゥヴの他の妻たちが駆けつけました。

「私のライヴーラよ」

その子は、泣き止みました。月日が経ちました。やがて、他の妻たちは、その子が泣いても、やって来なくなりました。ついに、アンペラモアが言葉を発しました。

「聖なる、聖なる、ライヴーラよ！　ライヴーラよ！」

ある朝：

“A ! Loza zao ro lahy. Ndao nareo hanea ampanjaka iny. ……”

“Manao akore?”

“A … manao zao fa o valinao, savà iny, mibeko mivola amin’ny anany iny”.

“Vandy zao ! hoy mpanjaka iny, fa olo moa koa ro hibeko? Hivaky vola ??? Tampahiko ny lohanareo laha zao ro vande!”

“E e… mpanjaka! Tampaho lohanay laha zao ro vande”.

Avy an-tanà eo mantonaly, mibeko i …Tomany zaza iny, mibeko… mibeko le moa an-trano ao:

« Masîna e, masîna e Laivola a»

Le manao zao : nampipoaky basy ampanjaka iny am-baravara eo.

La nitoàky Remoa an-trano ao.

“Zay ka !”

La eo raha iny, natao fisà. Lafa natao fisà, la manao Zatovo :

“Valiko oo tsy mivola iny io, ka fañohara lahy valy tea teraky anaky lahy, ka i tea iny koa mivola ka…”

Narian’i Zatovo aby valiny iabiaby rey, Remoa avao ro teo.

Ka i eo raha iny e. La manao an’io Zatovo:

“Fa manao an’io lahy valiko mivola ka misafà koa hoe ny olo moa lafa teraky? … Olo moa teraky tsy haiko. Fa ndra ia ia ro nimora, ndra ia olo tsy manaly la sokirim-bava, lafa teraky tsy mentsy mivola… Valiko lahy, hoy i, olo moa ka, lafa nampiterahin-dRañañahary ka mivola ! Ka ny moa hivola tsy haiko, fe ny olo tsy mivola laha tratsy ny anaky mivola”.

Ny mpitantara: RASAMBANY Refara

「王さまが来るのか、それともおまえたちがそちらに行くのか？」
「はい、私たちは驚いております。アンペラモアが子供のために歌っているのです」
「何と！　それは面妖な。おまえたちが王さまの許に行きなさい」
「どうしたのじゃ？」
「私たちは、王さまにお目にかかりにやってまいりました。と言うのも、あなたの妻が、その子供に歌い、話しかけているのでございます」
「それは嘘じゃ！　唖の人間が歌うだと？　話すだと？？？　もしそれが嘘なら、お前たちの首を刎ねようぞ！」
「はい、王さま、もしそれが嘘なら、私たちの首をお刎ねくださいまし」
　彼らは、夜中に村に着きました。その子供が泣きました。歌いました。唖の女性が家で歌いました。
「聖なる、聖なる、ライヴーラよ」
　その時、王さまは戸口の前で、鉄砲を撃たせました。アンペラモアは家の中で叫びました。
「本当じゃ！」
　その事があり、宴を催しました。その宴を催す際、ザトゥヴが、言いました。
「言葉のしゃべれない私の妻です。その妻が息子を生みました。そして彼女がしゃべったのです」
　ザトゥヴは他の妻たちを離縁し、アンペラモアだけを残しました。
　以上が、ザトゥヴのした事です。
「唖の人間が子供を生んだ時、私の妻がしゃべり、話をしたことは本当でしょうか。唖の人間が子供を生んだことを、私は知りません。しかし

ながら、出産したら、言葉をしゃべることのできない唖の人間でも、必ずやしゃべらなければなりません。
夫が言いました。「神が子供を生ませた時、彼女はしゃべったのです！喋る唖の人間を私は知りません。しかしながら、喋れない人間と雖も、喋る子供を持ったのです」。

語り手：ラサンバニ・レファーラ

8. AJA NAVILIN-DRAINY NY GISONY

Teo ajà reo, fizaïany roe vavy. Anaran'ny babany moa Lahiebo. Ka laha teo gison'ny ajà reo io, nila akata ajà reo. Raha reo raha tean-drozy biby fahanan'i zaza reo. Mila lalan-giso rozy, mbao mila kila akata, boredy hohanin'ny rahan'ajà reny io. Farany raha iny, navilin-drainy giso io.

"Zaho, hoy I tombohin'olo akonty ka aviliko gison'ajà reo".

"Aky lahy e !... nataon'ny valiny iny, raha ny anako tsy foiny reo lahy e la havilinao?"

"A ! mengà iha fa haviliko fa zao tobohin'olo !"

Naviliny giso rey. Nahazo drala raiky rozy roe. Avy ajà rey baka nila akata, boredy…

"Giso ?". giso ? giso ?..."

"Ino hanoy ?". Mikotaba ajà rey mila azy an-tanà eny.

"Giso ? giso ? giso ?...Aïa Neny gisonay rey, aïa ?"

"Oh ! Tsy haiko rako, fa tsy haiko nombàny lahy !"

"A ! Nao lie ! laha manao an'io li ka… Navilin'i nahodantsika raty io zay ka tsika handeha"

"Ndao !"

Nandaha rozy … nandeha … nandeha … Nitsàky ny riaky iny zaza rey.

(Beko)

"Nareo rako ho aïa ? nareo rako ho aïa? …"

"Hanao akory rahay Neny fa zahay tsy ho aïa…"

8.　父が売った娘たちのガチョウ

　昔、二人の姉妹の子供が居ました。彼女たちの父親の名前は、ラヒエブでした。二人はガチョウを飼っており、たいへん可愛がっていました。そのため彼女たちは、ガチョウの欲しがる物を手に入れました。ガチョウは、子供たちのくれる食べ物として、籾米、葉野菜を欲しがりました。とうとうそのため、子供たちの父はそのガチョウを売ることにしました。

「私の人に対する借りが増えるばかりだ。子供たちのガチョウを売ろう」とラヒエブが言いました。

「何ですって！　子供たちはガチョウをとても可愛がっているわ。それをあなたは売ると言うの？」と妻が答えました。

「へ！　頭にくるな。売らなきゃ、借りが増えるんだよ！」

　父親は、そのガチョウを売りました。お金を手にしました。子供たちがやって来て、籾米と葉野菜をあげようとしました。

「ガチョウさん？　ガチョウさん？　ガチョウさん何処？」

「誰も答えないの？」子供たちは動揺して、家に戻りました。

「ガチョウさん？　ガチョウさん？　ガチョウさん何処？　ねえ、お母さん、私たちのガチョウは何処に行ったの？」

「ああ！　私は知らないわ。私はガチョウが何処に行ったのか知らないわ」

「違う！　お母さん、あなたは本当のことを言っていないわ。ガチョウの事について。酷い男がガチョウを売っちゃったのよ。行きましょう」

「行きましょう！」

Nandeha zaza rey nitsaky ny riaky iny, ambanian-drozy

“Hanao akory rahay Neny…”

“Nao li ! hoy raiky iny, tsika himpoly fa maferene ahy reneko”.

“Mimpolia iha”, hoy i, “Taïa valiny no tsy tinàny hoe engao raha ny anako reo ! Fa komitin-drozy morovaly roe io. Mipolia iha, fa zaho mandeha io, mandeha !”

Nandeha zaza rey.

“Andao tsika i…”

Nandeha zaza rey nitsàky riaky, an-tratra…

“Nareo rako ho aïa…”

“Hanao akory rahay Neny…”

La am-bozo, an-tratran’ny renin-drozy iny rano io.

“Ah, zaho, hoy reniny, la matavy ny aiko, himpoly aho”.

“Nareo rako ho aïa…”

“Hanao akory rahay Neny…”

Nanelatsy taña rozy la tsolepo !

Nimpoly reniny amin-dranomaso. Avy an-tanà eo.

“A ? nanao akore ?”

“Ah ! ny ananao maty any ! any an-drano any !”

Natao havoria. Neloky renilahin’i zaza rey.

Nalain-drozy Lahiebo hovonoin-drozy. « E zao ! la manao zao ka » :

“Ndao tsika handeha ! tsy hovalian’io iha !”

“Vonoy Lahiebo !”

Kalon-drozy i… farany niazon-drozy. Tinampan-drozy ny lohany.

Izao ! laha eo ny zaza, ny raha tsy foen’anaky, tsy avily fa laminy

彼女たち三人は出かけました。行きました。行きました。三人は海に出ました。
「子供たちよ、あなたたちは何処まで行くの？」
「お母さん、私たちどうしたら良いの。私たち何処まで行けば」
子供たちは海に入りました。海は、彼女たちの下まできました。
「お母さん、私たちどうしよう」
「そうよ！　戻りましょう。お母さんが心配するわ」と姉妹の一人が言いました。
「戻りなさいよ。私たちの物を盗ったのに、どうしてお母さんが何もしないのかしら！　お父さんとお母さんの二人は、グルだわ。あなたは戻りなさい。私は行くわ。行くわよ」
姉妹の一人は、先に進みました。
「行きましょう！」
二人は、胸のところまで海に入りました。
「子供たちよ、あなたたちは何処まで行くの？」
「お母さん、どうしよう」
海の水は、子供たちの胸にまで達しました。
「ああ、私は太りすぎだわ。私は戻るわ」と子供たちの母が言いました。
「あなたたちは何処まで行くの？」
「お母さん、どうしよう」
娘たちは腕を上げ（て海の中に入って行き）、見えなくなりました。
母親は泣きながら村に戻りました。
「どうしたんだい？」（とラヒエブが言いました）
「あなたの子供たちが、あっちで死んじゃったのよ！　あっちの海で！」

aminy, lahàry aminy hoe:

“ manao akore koahe, rahanao toy haviliko le fa hataontsika hoe tsika zay, hangalako ny hasosorako”.

Fa tsy avily avao hoe misenge rae ka misenge rene fa avilin-teña ambohony ato.

Zay ny antony namonoen’anaky foe. Tsy avily raha tsy foempon’ny anaky.

Maty ajà rey an-drano any. I manjary fesoky an-driake eny reo. Atao hoe fesoky fia ny antampany, ka olo ny antampany rey. Atao hoe “Ampelandrano” ny añarany añatin-driake eny.

Tsy zaho la mavandy fa ny antaloha.

Ny mpitantara: RASAMBANY Refara

村の集会が開かれました。子供たちの母方オジが怒ったのです。

人びとは、殺すためにラヒエブを捕まえました。

「ああ、そうさ！　俺がやったのさ」

「やってしまおうぜ！　問答無用！」

「ラヒエブを殺せ」

人びとはラヒエブを捕まえて、その首を刎ねました。

そうなんです！　子供でも、子供が愛している物を、売ることはできません。それを売るならば、子供と話をするべきなのです；「おまえたちの物を私が売ったらどうかな。その事を、みんなで決めよう。困っている事を解決しよう」。それゆえ、父親や母親といえども無理やり売ってはいけないのです。

これが、子供たちを死に追いやった理由です。子供が愛している物を売ることはできません。なぜなら、自分の物ではない物を売ることになるからです。

子供たちは海で死にました。子供たちは、フェスキ・アン・ジュリアケ[人魚]になりました。すなわち、身体の半分がフェスキと呼ばれる魚になり、残りの半分は人間だったのです。アンペランジュラヌ、すなわち＜海の女＞とも呼ばれます。

嘘をついているのは私ではなく、昔々の人たちです。

語り手：ラサンバニ・レファーラ

9. VALIBE TSY ALOZA

Teo Zatovo mpanjaka mampirafy. Ka laha teo mpanjaka eo. Raiky toy valibe toy moa olo tsy mahazo alo ka … fa olo eo avao. Valy masay io ro mahazo alo.

Ka la nandeha ampanjaka valin-drozy nandeha namanga.
Bak'eo rozy, avy ampanjaka iny bak'ao naniraky. La naniraka i bak'ao…

Avy eo, nampiboaky valibe iny foti-tsako, fotim-bare, valàny be mamolo, naboaka an-tany eo,. Valy masay tsy nety nampiboaky, fa no nandrinandry an-trano ao avao.

Ao avo i !

Tsoropaky lahin-drozy iny avy an-trano amy valy masainy ao:
"Toy lahy ! raha manao akore raha ataonao toy ?"
"A ! anaovako azy io laha hala".
"E e?" ,
"E".

Le niboaky ampanjaka nahoda iny nandeha amy valibe any:
"Manao ahoa lahy iha ato ?"
"Ino hoy i, ataoko zaho ato fa… ndreo ny foti-tsako, ndreo ny fotim-bare, ndreo ny valàny be mamolo hiketrehan'ny vaveanao, olo baky nanafiky reo !"

Zao, niketriky vavea nandesin'ampanjaka iny. Baky niketriky ny sakafo. Vita sakafo iny la nirava, la nandeha an-tranony.

E ! Zoma maraindray !

9.　本妻は軽んざれず

昔、ザトゥヴと言う名前の王さまがおり、複数の妻が居ました。王さまは村に居る時、第一夫人のもとには立ち寄りませんでした。新しい第二夫人のもとに居ました。

王さまは、第二夫人を訪ねました。

王さまはやって来る時、妻たちに来ることを知らせました。知らせたのです。すると第一夫人は、コメや皮を剥いたトウモロコシ、それに大鍋を庭に置きました。第二夫人は出て来ようとはせず、家で寝ているだけでした。

王さまは、第二夫人の家に入りました。

「どうじゃな？　あなたは何をしているのかね？」

「あら！　私のしていることがお嫌いなの？」

「いいや」

「そう」

王さまは、（第二夫人の）家を出ると、第一夫人の家に行きました。

「ここのお方はご機嫌いかがかな？」

「何か、私はここにおります。ここに、皮を剥いたトウモロコシとコメと大鍋がございます。遠い戦の旅から戻った人びと、あなた様の部下たちが食事を作るためでございます」

王さまが連れて行った部下たちが食事を作りました。食事ができ、食事が終わると解散し、それぞれの家に戻りました。

金曜日の朝の事でした。

“Ha ! hoe nataon’ampanjaka iny, (sanatrian’ny vava dinin’ny lela) “Fafao, hoy i, tokontany io fa hangereako”.

“Zaho, hoe valy masay iny, laha hoe ampanjaka iha ka zaho hamafa ny tokontany hangerenao !... Ty lahy, hoy i, mba lehilahy minafonafoky !”

Niboaky mpanjaka iny namonjy valibeny ao:

“Nao koahe ! fafao li tokontany io fa hangereako”.

“E ! ”, hoy n’ampela.

La kinaikin’ampela valibe iny ny vaveany iny, la namafa tokontany iny, la namafa, la nalio. La io nivita fafa io, la nalàny vositsy iny nisoroña, nababoky antiñañan-trano ao.

La natao soro iny, la vita. La binaibay hena iny. Tinao hena iny natao amy valibe iny ao. Noho eo mifitaky amonto eo valy masay iny, am-baravara eo. Tinao hena iny an-trano ao, tinao hena iny… Farany, lafa tsy nisy andafike eo, la nanao zao ampela valy masay iny eroa.

“AK ! AK !”.

Le nanao “AK!” iny, la nitsoropaka an-trano ao. La tonga ny sadian’ny valiny, la nakopokopony amy taim-borak’io eo, la io manjary ganàky io ka…”

Tsy zaho ro mavandy fa ny antaloha

Ny mpitantara: RASAMBANY Refara

「お〜い！　悪いが、ウンチをしたので庭を掃いてくれないか」と王さまが言いました。
「え〜。あなたが王さまだとしても、私が、あなたがウンチした庭を掃くの！　何て人なの、頭にくる！」と第二夫人が言いました。
　王さまは第二夫人の家を出ると、第一夫人のもとに行きました。
「お〜い！　私がウンチした庭を掃いてくれないか」
「はい」と女性が言いました。
　第一夫人は、下女に庭を掃くように言いつけました。掃くと、きれいになりました。掃き終えると、家の東で太った去勢牛を屠らせました。供犠を行い、終わりました。肉が切り分けられ、第一夫人のもとにも運ばれました。（その間、）第二夫人は、自分の家の戸口の外に座って（その様子を見て）いました。肉が続々と第一夫人のもとに運ばれてゆきました。最後には、戸外で何も（する事が）無かったため、第二夫人が言いました。
「エケ、エケ」と言いました。エケとは、あの家をご覧と言う意味です。第二夫人に罰が下されました。その場で彼女は、牛糞を何度も塗られました。彼女は、鴨になりました。
　私ではなく、昔の人が嘘を言ったのです。

語り手：ラサンバニ・レファーラ

ANGANO MALAGASY

Tsimihety sy Betsimisaraka ary Masikoro

マダガスカルの民話 I

ツィミヘティ・ベツィミサラカ・マシクル

2015（平成 27）年 3 月 31 日第 1 版発行
2018（平成 30）年 1 月 10 日第 2 版（電子版）発行

編訳者　深澤　秀夫
ラザフィアリヴニ・ミシェル
発　行　東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
〒 183-8534 東京都府中市朝日町 3–11–1
TEL. 042–330–5600
https://publication.aa-ken.jp/

© 2018 Hideo Fukazawa & Michel Razafiarivony
ISBN 978-4-86337-270-2

この作品は PDF フォーマットによる電子出版物として刊行されました。この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/